

公共健康医学専攻(SPH)シラバス

2015年度

東京大学大学院医学系研究科

目 次

事 項		ページ
1. 授業科目の履修について		1
	1. 修了要件	1
	2. 履修手続き	1
2. 授業科目一覧		2
3. 時間割		3
4. 履修モデル		4～7
	「公衆衛生行政・管理」	4
	「保健アナリスト・コーディネーター」	5
	「臨床疫学・アウトカム評価」	6
	「医療情報・臨床工学」	7
5. シラバス		8～48
6. 公共健康医学専攻成績評価規則		49
7. 公共政策大学院との合併科目について		50～52

日 程	
S P Hガイダンス	4月 2日 (木)
入進学者ガイダンス	4月 3日 (金)
大学院入学式	4月13日 (月)
S 1ターム	4月 6日 (月) ~ 6月 4日 (木)
定期健康診断	新入生： 5月12日 (火) ~ 14日 (木) 6月22日 (月) ~ 26日 (金)
	在学生： 4月21日 (火) ~ 30日 (木) 6月10日 (水) ~ 19日 (金)
S 2ターム	6月 5日 (金) ~ 7月31日 (金)
S P H研究室配属 (予定)	オリエンテーション：6月中旬~下旬
	希望調書提出 : 7月上旬~中旬
夏季休業期間	8月 1日 (土) ~ 31日 (月)
A 1ターム	9月10日 (木) ~10月30日 (金)
A 2ターム	11月 2日 (月) ~12月28日 (月)
Wターム	1月 4日 (月) ~ 3月 2日 (水)
S P H課題研究論文	題目届提出期限： 11月30日 (月)
	論文提出期限： 12月18日 (金)
	発 表 会： 1月 8日 (金)
学位記授与式	3月24日 (木) (予定)

時 限	1 時 限	8 : 3 0 ~ 1 0 : 1 5
	2 時 限	1 0 : 2 5 ~ 1 2 : 1 0
	3 時 限	1 3 : 0 0 ~ 1 4 : 4 5
	4 時 限	1 4 : 5 5 ~ 1 6 : 4 0
	5 時 限	1 6 : 5 0 ~ 1 8 : 3 5
	6 時 限	1 8 : 4 5 ~ 2 0 : 3 0

1. 授業科目の履修について

1. 修了要件

コ ー ス		1年コース	2年コース																																	
標準修業年限		1 年	2 年																																	
必要単位数		必修科目及び選択科目合わせて30単位以上																																		
修了要件	必 修	①A：2科目+B：4科目の計6科目11単位を履修 A：必須2科目																																		
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>科目番号</th> <th>科目名</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>41518113</td> <td>医学データの統計解析</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>41518322</td> <td>環境健康医学</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table>		科目番号	科目名	単位	41518113	医学データの統計解析	2	41518322	環境健康医学	1																								
		科目番号	科目名	単位																																
		41518113	医学データの統計解析	2																																
41518322	環境健康医学	1																																		
B：下記の4つに分類されている必修科目を、各分類から1科目ずつ計4科目(各分類1科目以上、計4科目以上履修も可)																																				
<table border="1"> <thead> <tr> <th>分類</th> <th>科目番号</th> <th>科目名</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">1</td> <td>41518111</td> <td>疫学研究と実践</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>41518115</td> <td>医学研究のデザイン</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">2</td> <td>41518211</td> <td>精神保健学 I</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>41518213</td> <td>健康教育学</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">3</td> <td>41518218</td> <td>医療倫理学 I</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>41518220</td> <td>社会と健康 I</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>41518316</td> <td>法医学・医事法学</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">4</td> <td>41518311</td> <td>健康医療政策学</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>41518312</td> <td>医療情報システム学</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table>		分類	科目番号	科目名	単位	1	41518111	疫学研究と実践	2	41518115	医学研究のデザイン	2	2	41518211	精神保健学 I	2	41518213	健康教育学	2	3	41518218	医療倫理学 I	2	41518220	社会と健康 I	2	41518316	法医学・医事法学	2	4	41518311	健康医療政策学	2	41518312	医療情報システム学	2
分類	科目番号	科目名	単位																																	
1	41518111	疫学研究と実践	2																																	
	41518115	医学研究のデザイン	2																																	
2	41518211	精神保健学 I	2																																	
	41518213	健康教育学	2																																	
3	41518218	医療倫理学 I	2																																	
	41518220	社会と健康 I	2																																	
	41518316	法医学・医事法学	2																																	
4	41518311	健康医療政策学	2																																	
	41518312	医療情報システム学	2																																	
		② 課題研究 (6単位) (2年次に履修申請すること)																																		
	選択科目	①選択科目(1年コースの課題研究は選択科目扱い) ②他専攻・他研究科(特に公共政策大学院)科目(8単位まで)																																		

注意事項：同一年度中に50単位を超えて履修科目を登録することはできません。

※ 通年科目はS1タームの単位として算入されます。(ただし、課題研究論文については1年コース所属学生の場合のみ、A1タームの履修単位として算入されます。)

2. 履修手続き

下記期間内に、学務システム(通称:UT-mate)で履修登録を行ってください。

<参照> <https://ut-gakumu.adm.u-tokyo.ac.jp/websys/campus>

	S1	S2	A1	A2	W
履修登録期間	4/6~4/20		9/10~9/25		
履修訂正期間	—	6/8~6/12	—	11/2~11/13	1/4~1/14

2. 授業科目一覧

※講義室・講義日程が変更となる場合があるので掲示等を必ず確認すること。

頁	科目番号	授 業 科 目	単 位	ターム	曜日	時限等	担当教員	開始日
8	41518111	疫学研究と実践	2	S1・S2	金	2	佐々木 敏 教授	4/10
9	41518112	予防保健の実践と評価	2	夏季	集中	2~4	佐々木 敏 教授	8/3
10	41518113	医学データの統計解析	2	S1	木	3・4	松山 裕 教授	4/9
11	41518114	医学統計学演習	2	S2	木	3・4	大庭 幸治 准教授	6/4
12	41518115	医学研究のデザイン	2	S2	火	3・4	松山 裕 教授	6/9
13	41518116	臨床疫学	2	S2	水	1・2	康永 秀生 教授	6/10
14	41518117	臨床疫学・経済学演習	2	A2・W	木	3・4	康永 秀生 教授	11/12
15	41518118	保健医療経済学	2	S1	水	1・2	康永 秀生 教授	4/8
16	41518120	医療コミュニケーション学	2	S1	火	3・4	木内 貴弘 教授 石川 ひろの 准教授	4/7
18	41518122	医療コミュニケーション学演習	2	S2	水	3・4	木内 貴弘 教授 石川 ひろの 准教授	6/10
19	41518124	医療技術評価学演習	1	W	木	2	康永 秀生 教授	1/7
20	41518126	臨床医学概論	1	S1	木	2	康永 秀生 教授	4/9
21	41518127	医学研究とCDISC標準	1	A2	水	3	木内 貴弘 教授 石川 ひろの 准教授	11/4
22	41518211	精神保健学 I	2	S1・S2	火	5	川上 憲人 教授 島津 明人 准教授	4/7
23	41518212	精神保健学 II	2	A2・W	火	5	島津 明人 准教授 川上 憲人 教授	11/10
24	41518213	健康教育学	2	W	金	1・2	橋本 英樹 教授	1/15
25	41518214	健康社会学	2	A2	金	1・2	橋本 英樹 教授	11/6
26	41518217	健康増進科学	2	A2	火	3・4	李 廷秀 准教授	11/10
27	41518218	医療倫理学 I	2	S1	木	5・6	瀧本 禎之 准教授	4/9
28	41518219	医療倫理学 II	2	S2	木	5・6	瀧本 禎之 准教授	6/11
29	41518220	社会と健康 I	2	A2	木	1・2	近藤 尚己 准教授 橋本 英樹 教授 川上 憲人 教授	11/12
30	41518221	社会と健康 II	2	W	金	3・4	近藤 尚己 准教授	1/15
31	41518222	産業保健の理論と実践	2	A2	水	1・2	川上 憲人 教授 大久保 靖司 教授	11/4
32	41518223	保健医療人材育成学	2	S1	火	1・2	北村 聖 教授 大西 弘高 講師 孫 大輔 講師	4/7
33	41518224	学習者評価学	2	A2	火	1・2	北村 聖 教授 大西 弘高 講師 孫 大輔 講師	11/10
34	41518311	健康医療政策学	2	A2・W	月	5	小林 廉毅 教授 豊川 智之 准教授	11/2
35	41518312	医療情報システム学	2	S1	金	3・4	大江 和彦 教授	4/10
36	41518313	医療情報システム学実習	1	S2	木	1・2	大江 和彦 教授	6/18
37	41518316	法医学・医事法学	2	S1・S2	月	3	岩瀬 博太郎 教授 槇野 陽介 講師	4/20
38	41518318	医療安全管理学	1	S1	水	3・4	児玉 安司 特任教授	4/8
39	41518319	医療安全管理学実習	0.5	A1	集中	1~6	児玉 安司 特任教授	9/28
40	41518320	健康危機管理学	1	S1	月	1・2	小林 廉毅 教授	4/13
41	41518321	保健行政・健康危機管理学実習	2	夏季・A1	集中		小林 廉毅 教授	8/31
42	41518322	環境健康医学	1	A2	月	2	大迫 誠一郎 准教授	11/2
43	41518323	公共健康情報学	2	S2	金	3・4	小山 博史 教授	6/5
44	41518324	公共健康情報学実習	1	A2	金	3・4	小山 博史 教授	11/6
45	41518411	インターンシップ	2	夏季・A1			川上 憲人 教授	-
47	41518412	公共健康医学特論	2	S1	月	4・5	各教員	4/20
48	41518511	課題研究	6	通年			各指導教員	-

* 講義室は、原則、医学部教育研究棟 1 3 階公共健康医学専攻 (SPH) 講義室

* 「医療経営学演習」、「法医学・医事法学演習」は休講とする

3. 時間割(平成27年度)

()単位数

		S1 (4/1~6/4)	S2 (6/5~7/31)	夏季休業 (8/1~8/31)	A1 (9/1~10/31)	A2 (11/1~12/31)	W (1/1~3/31)			
曜日	授業 期間	4/6~6/4	6/5~7/31	8/1~8/31	9/10~10/30	11/2~12/28	1/4~3/2			
	時限	9W	8W	4W	8W	8W	8W			
月	1 8:30 10:15	41518320- 健康危機管理学(1)						1	月	
	2 10:25 12:10							41518322- 環境健康医学(1)**		2
	3 13:00 14:45	41518316-法医学・医事法学(2)*3						3		
	4 14:55 16:40	41518412- 公共健康医学特論(2)						4		
	5 16:50 18:35							41518311-健康医療政策学(2)*4		5
	6 18:45 20:30							6		
火	1 8:30 10:15	41518223- 保健医療人材育成学 (2)						1	火	
	2 10:25 12:10							41518224- 学習者評価学(2)		2
	3 13:00 14:45	41518120- 医療コミュニケーション学(2)						41518115- 医学研究のデザイン (2)*1		3
	4 14:55 16:40									41518217- 健康増進科学(2)
	5 16:50 18:35	41518211-精神保健学 I (2)*2						41518212-精神保健学 II (2)		5
	6 18:45 20:30									6
水	1 8:30 10:15	41518118- 保健医療経済学(2)		下記特記事項 参照	インターンシ ップ、課題研究 など			1	水	
	2 10:25 12:10							41518116-臨床疫学(2)		2
	3 13:00 14:45	41518318- 医療安全管理学(1)						41518122- 医療コミュニケーション学演 習(2)		3
	4 14:55 16:40									41518127-医学研究と CDISC標準(1)
	5 16:50 18:35									5
	6 18:45 20:30									6
木	1 8:30 10:15	41518126- 臨床医学概論(1)						1	木	
	2 10:25 12:10							41518313- 医療情報システム学実習 (1)		2
	3 13:00 14:45	41518113-医学データ の統計解析(2)**						41518114-医学統計学 演習(2)		3
	4 14:55 16:40									41518117-臨床疫学・経済学演習(2)
	5 16:50 18:35	41518218- 医療倫理学 I (2)*3						41518219- 医療倫理学 II (2)		5
	6 18:45 20:30									6
金	1 8:30 10:15	41518111-疫学研究と実践(2)*1						1	金	
	2 10:25 12:10							41518220- 社会と健康 I (2)*3		41518124-医療技術評 価学演習(1)
	3 13:00 14:45	41518312- 医療情報システム学 (2)*4						41518323- 公共健康情報学(2)		3
	4 14:55 16:40									41518324- 公共健康情報学実習 (1)
	5 16:50 18:35									5
	6 18:45 20:30									6

夏季	8月	2週目	41518112-予防保健の実践と評価(8/3~7)(2)
A 1	9月	1週目	41518321-保健行政・健康危機管理学実習(8/31~9/11予定)(2)
		5週目	41518319-医療安全管理学実習(9/28~29)(0.5)

** 必修科目
*1~4 選択必修科目

4. 履修モデル

履修モデル「公衆衛生行政・管理」

		S1 (4/1~6/4)	S2 (6/5~7/31)	夏季休業 (8/1~8/31)	A1 (9/1~10/31)	A2 (11/1~12/31)	W (1/1~3/31)		
曜日	授業 期間	4/6~6/4	6/5~7/31	8/1~8/31	9/10~10/30	11/2~12/28	1/4~3/2		
	時限	9W	8W	4W	8W	8W	8W		
月	1	8:30 10:15	41518320- 健康危機管理学(1)					1	月
	2	10:25 12:10				41518322- 環境健康医学(1)**		2	
	3	13:00 14:45	41518316-法医学・医事法学(2)*3					3	
	4	14:55 16:40	41518412- 公共健康医学特論(2)					4	
	5	16:50 18:35					41518311-健康医療政策学(2)*4	5	
	6	18:45 20:30						6	
火	1	8:30 10:15	41518223- 保健医療人材育成学 (2)			41518224- 学習者評価学(2)		1	火
	2	10:25 12:10					2		
	3	13:00 14:45	41518120- 医療コミュニケーション学(2)	41518115- 医学研究のデザイン (2)*1		41518217- 健康増進科学(2)		3	
	4	14:55 16:40						4	
	5	16:50 18:35	41518211-精神保健学 I (2)*2			41518212-精神保健学 II (2)		5	
	6	18:45 20:30						6	
水	1	8:30 10:15	41518118- 保健医療経済学(2)	41518116-臨床疫学(2)	下記特記事項 参照	41518222- 産業保健の理論と実践 (2)		1	水
	2	10:25 12:10						2	
	3	13:00 14:45	41518318- 医療安全管理学(1)	41518122- 医療コミュニケーション学演 習(2)		41518127-医学研究と CDISC標準(1)		3	
	4	14:55 16:40						4	
	5	16:50 18:35						5	
	6	18:45 20:30						6	
木	1	8:30 10:15		41518313- 医療情報システム学実習 (1)	インターンシ ップ、課題研究 など	41518220- 社会と健康 I (2)*3	41518124-医療技術評 価学演習(1)	1	木
	2	10:25 12:10	41518126- 臨床医学概論(1)					2	
	3	13:00 14:45	41518113-医学データの 統計解析(2)**	41518114-医学統計学 演習(2)		41518117-臨床疫学・経済学演習(2)		3	
	4	14:55 16:40						4	
	5	16:50 18:35	41518218- 医療倫理学 I (2)*3	41518219- 医療倫理学 II (2)				5	
	6	18:45 20:30						6	
金	1	8:30 10:15				41518214- 健康社会学(2)	41518213- 健康教育学(2)*2	1	金
	2	10:25 12:10	41518111-疫学研究と実践(2)*1				2		
	3	13:00 14:45	41518312- 医療情報システム学(2)*4	41518323- 公共健康情報学(2)	41518324- 公共健康情報学実習 (1)	41518221- 社会と健康 II (2)	3		
	4	14:55 16:40					4		
	5	16:50 18:35					5		
	6	18:45 20:30					6		

夏季	8月	2週目	41518112-予防保健の実践と評価(8/3~7)(2)
A 1	9月	1週目	41518321-保健行政・健康危機管理学実習(8/31~9/11予定)(2)
		5週目	41518319-医療安全管理学実習(9/28~29)(0.5)

** 必修科目
*1~4 選択必修科目

履修モデル「保健アナリスト・コーディネーター」

		S1 (4/1~6/4)	S2 (6/5~7/31)	夏季休業 (8/1~8/31)	A1 (9/1~10/31)	A2 (11/1~12/31)	W (1/1~3/31)		
曜日	授業 期間	4/6~6/4	6/5~7/31	8/1~8/31	9/10~10/30	11/2~12/28	1/4~3/2		
	時限	9W	8W	4W	8W	8W	8W		
月	1 8:30 10:15	41518320- 健康危機管理学(1)		下記特記事項 参照	インターンシ ップ、課題研究 など			1	月
	2 10:25 12:10					41518322- 環境健康医学(1)**	2		
	3 13:00 14:45	41518316-法医学・医事法学(2)*3					3		
	4 14:55 16:40	41518412- 公共健康医学特論(2)					4		
	5 16:50 18:35					41518311-健康医療政策学(2)*4	5		
	6 18:45 20:30						6		
火	1 8:30 10:15	41518223- 保健医療人材育成学 (2)		下記特記事項 参照	インターンシ ップ、課題研究 など	41518224- 学習者評価学(2)		1	火
	2 10:25 12:10						2		
	3 13:00 14:45	41518120- 医療コミュニケーション学(2)	41518115- 医学研究のデザイン (2)*1			41518217- 健康増進科学(2)	3		
	4 14:55 16:40						4		
	5 16:50 18:35	41518211-精神保健学 I (2)*2				41518212-精神保健学 II (2)	5		
	6 18:45 20:30						6		
水	1 8:30 10:15	41518118- 保健医療経済学(2)	41518116-臨床疫学(2)	下記特記事項 参照	インターンシ ップ、課題研究 など	41518222- 産業保健の理論と実 践(2)		1	水
	2 10:25 12:10						2		
	3 13:00 14:45	41518318- 医療安全管理学(1)	41518122- 医療コミュニケーション学演 習(2)			41518127-医学研究と CDISC標準(1)	3		
	4 14:55 16:40						4		
	5 16:50 18:35						5		
	6 18:45 20:30						6		
木	1 8:30 10:15		41518313- 医療情報システム学実習 (1)	下記特記事項 参照	インターンシ ップ、課題研究 など	41518220- 社会と健康 I (2)*3	41518124-医療技術評 価学演習(1)	1	木
	2 10:25 12:10	41518126- 臨床医学概論(1)					2		
	3 13:00 14:45	41518113-医学デー タの統計解析(2)**	41518114-医学統計学 演習(2)			41518117-臨床疫学・経済学演習(2)	3		
	4 14:55 16:40						4		
	5 16:50 18:35	41518218- 医療倫理学 I (2)*3	41518219- 医療倫理学 II (2)				5		
	6 18:45 20:30						6		
金	1 8:30 10:15			下記特記事項 参照	インターンシ ップ、課題研究 など	41518214- 健康社会学(2)	41518213- 健康教育学(2)*2	1	金
	2 10:25 12:10	41518111-疫学研究と実践(2)*1					2		
	3 13:00 14:45	41518312- 医療情報システム学 (2)*4	41518323- 公共健康情報学(2)			41518324- 公共健康情報学実習 (1)	41518221- 社会と健康 II (2)	3	
	4 14:55 16:40						4		
	5 16:50 18:35						5		
	6 18:45 20:30						6		

夏季	8月	2週目	41518112-予防保健の実践と評価(8/3~7)(2)
A 1	9月	1週目	41518321-保健行政・健康危機管理学実習(8/31~9/11予定)(2)
		5週目	41518319-医療安全管理学実習(9/28~29)(0.5)

** 必修科目
*1~4 選択必修科目

履修モデル「臨床疫学・アウトカム評価」

		S1 (4/1~6/4)	S2 (6/5~7/31)	夏季休業 (8/1~8/31)	A1 (9/1~10/31)	A2 (11/1~12/31)	W (1/1~3/31)		
曜日	授業 期間	4/6~6/4	6/5~7/31	8/1~8/31	9/10~10/30	11/2~12/28	1/4~3/2		
	時限	9W	8W	4W	8W	8W	8W		
月	1	8:30 10:15	41518320- 健康危機管理学(1)					1	月
	2	10:25 12:10				41518322- 環境健康医学(1)**		2	
	3	13:00 14:45	41518316-法医学・医事法学(2)*3					3	
	4	14:55 16:40	41518412- 公共健康医学特論(2)					4	
	5	16:50 18:35					41518311-健康医療政策学(2)*4	5	
	6	18:45 20:30						6	
火	1	8:30 10:15	41518223- 保健医療人材育成学 (2)			41518224- 学習者評価学(2)		1	火
	2	10:25 12:10					2		
	3	13:00 14:45	41518120- 医療コミュニケーション学(2)	41518115- 医学研究のデザイン (2)*1		41518217- 健康増進科学(2)		3	
	4	14:55 16:40					4		
	5	16:50 18:35	41518211-精神保健学 I (2)*2			41518212-精神保健学 II (2)		5	
	6	18:45 20:30						6	
水	1	8:30 10:15	41518118- 保健医療経済学(2)	41518116-臨床疫学(2)	下記特記事項 参照	41518222- 産業保健の理論と実践 (2)		1	水
	2	10:25 12:10						2	
	3	13:00 14:45	41518318- 医療安全管理学(1)	41518122- 医療コミュニケーション学演 習(2)		41518127-医学研究と CDISC標準(1)		3	
	4	14:55 16:40						4	
	5	16:50 18:35						5	
	6	18:45 20:30						6	
木	1	8:30 10:15		41518313- 医療情報システム学実習 (1)	インターンシ ップ、課題研究 など	41518220- 社会と健康 I (2)*3	41518124-医療技術評 価学演習(1)	1	木
	2	10:25 12:10	41518126- 臨床医学概論(1)					2	
	3	13:00 14:45	41518113-医学データの 統計解析(2)**	41518114-医学統計学 演習(2)		41518117-臨床疫学・経済学演習(2)		3	
	4	14:55 16:40						4	
	5	16:50 18:35	41518218- 医療倫理学 I (2)*3	41518219- 医療倫理学 II (2)				5	
	6	18:45 20:30						6	
金	1	8:30 10:15				41518214- 健康社会学(2)	41518213- 健康教育学(2)*2	1	金
	2	10:25 12:10	41518111-疫学研究と実践(2)*1				2		
	3	13:00 14:45	41518312- 医療情報システム学(2)*4	41518323- 公共健康情報学(2)	41518324- 公共健康情報学実習 (1)	41518221- 社会と健康 II (2)	3		
	4	14:55 16:40					4		
	5	16:50 18:35					5		
	6	18:45 20:30					6		

夏季	8月	2週目	41518112-予防保健の実践と評価(8/3~7)(2)
A 1	9月	1週目	41518321-保健行政・健康危機管理学実習(8/31~9/11予定)(2)
		5週目	41518319-医療安全管理学実習(9/28~29)(0.5)

** 必修科目
*1~4 選択必修科目

履修モデル「医療情報・臨床工学」

		S1 (4/1~6/4)	S2 (6/5~7/31)	夏季休業 (8/1~8/31)	A1 (9/1~10/31)	A2 (11/1~12/31)	W (1/1~3/31)		
曜日	授業 期間	4/6~6/4	6/5~7/31	8/1~8/31	9/10~10/30	11/2~12/28	1/4~3/2		
	時限	9W	8W	4W	8W	8W	8W		
月	1	8:30 10:15	41518320- 健康危機管理学(1)					1	月
	2	10:25 12:10				41518322- 環境健康医学(1)**		2	
	3	13:00 14:45	41518316-法医学・医事法学(2)*3					3	
	4	14:55 16:40	41518412- 公共健康医学特論(2)					4	
	5	16:50 18:35					41518311-健康医療政策学(2)*4	5	
	6	18:45 20:30						6	
火	1	8:30 10:15	41518223- 保健医療人材育成学 (2)			41518224- 学習者評価学(2)		1	火
	2	10:25 12:10					2		
	3	13:00 14:45	41518120- 医療コミュニケーション学(2)	41518115- 医学研究のデザイン (2)*1		41518217- 健康増進科学(2)		3	
	4	14:55 16:40					4		
	5	16:50 18:35	41518211-精神保健学 I (2)*2			41518212-精神保健学 II (2)		5	
	6	18:45 20:30						6	
水	1	8:30 10:15	41518118- 保健医療経済学(2)	41518116-臨床疫学(2)	下記特記事項 参照	41518222- 産業保健の理論と実践 (2)		1	水
	2	10:25 12:10						2	
	3	13:00 14:45	41518318- 医療安全管理学(1)	41518122- 医療コミュニケーション学演 習(2)		41518127-医学研究と CDISC標準(1)		3	
	4	14:55 16:40						4	
	5	16:50 18:35						5	
	6	18:45 20:30						6	
木	1	8:30 10:15		41518313- 医療情報システム学実習 (1)	インターンシ ップ、課題研究 など	41518220- 社会と健康 I (2)*3	41518124-医療技術評 価学演習(1)	1	木
	2	10:25 12:10	41518126- 臨床医学概論(1)					2	
	3	13:00 14:45	41518113-医学データの 統計解析(2)**	41518114-医学統計学 演習(2)		41518117-臨床疫学・経済学演習(2)		3	
	4	14:55 16:40						4	
	5	16:50 18:35	41518218- 医療倫理学 I (2)*3	41518219- 医療倫理学 II (2)				5	
	6	18:45 20:30						6	
金	1	8:30 10:15				41518214- 健康社会学(2)	41518213- 健康教育学(2)*2	1	金
	2	10:25 12:10	41518111-疫学研究と実践(2)*1				2		
	3	13:00 14:45	41518312- 医療情報システム学(2)*4	41518323- 公共健康情報学(2)	41518324- 公共健康情報学実習 (1)	41518221- 社会と健康 II (2)	3		
	4	14:55 16:40					4		
	5	16:50 18:35					5		
	6	18:45 20:30					6		

夏季	8月	2週目	41518112-予防保健の実践と評価(8/3~7)(2)
A 1	9月	1週目	41518321-保健行政・健康危機管理学実習(8/31~9/11予定)(2)
		5週目	41518319-医療安全管理学実習(9/28~29)(0.5)

** 必修科目
*1~4 選択必修科目

5. シラバス

科 目 名	疫学研究と実践 [科目番号：41518111]		
タ ー ム	S1・夏季①	単 位 数	2単位
曜日・授業時間帯	金曜・2時限		
場 所	医学部教育研究棟 13階 公共健康医学専攻 (SPH) 講義室		
担 当 教 員	佐々木 敏		
授 業 の 目 的	<p>地域・職域など、社会（生活環境下）で実施する疫学研究の理論と方法についての基本を理解することを目的とする。この種の疫学研究を実施・実践する際や利用する際に考慮すべき点を理解し、その具体的な方法と技術について学ぶ。</p> <p>主な内容は次の通り：予防保健と疫学の関連、疫学的思考、疫学研究論文の読み方、疫学研究デザイン、測定誤差の種類と対策、疾患からみた疫学研究、生活要因からみた疫学研究、保健業務（特定保健指導等）における疫学研究の考え方と方法、保健業務や疾病予防活動への研究成果の利用方法、その他。</p>		
授 業 の 方 法	<ul style="list-style-type: none"> ・各回ひとつのテーマを選んで講義を行う。 ・テーマ毎に資料が配布される。 ・3回目から12回目までは毎回講義後に宿題（小レポート）が課される。 		
授業計画及び内容 (各回のテーマ)	<ol style="list-style-type: none"> 1) 4/10 序論 2) 4/17 歴史と役割 3) 4/24 記述疫学の目的と方法 (注意) 5/1 は休講 4) 5/8 生態学的研究の目的と方法 5) 5/15 横断研究の目的と方法 6) 5/22 測定誤差とその具体的な対策 (1) 7) 5/29 測定誤差とその具体的な対策 (2) 8) 6/5 症例対照研究の目的と方法 9) 6/12 コホート研究の目的と方法 10) 6/19 介入研究の目的と方法 (1) 11) 6/26 介入研究の目的と方法 (2) 12) 7/3 レビュー・メタ・アナリシスの目的と方法 13) 7/10 疫学研究の保健活動への活用 (注意) 7/17 は予備日 (追記) 第4回目以後は小レポートの発表が随時加わる。 		
教科書・参考書等	(参考書) わかりやすい EBN と栄養疫学. 佐々木敏/著 (同文書院)		
成績評価の方法	出席 (配点: およそ 4 割)、小レポート (同: およそ 4 割) と講義時間中の質疑応答など (同: およそ 2 割) を総合的に評価して判定する。		
他の授業との関連	<p>「予防保健の実践と評価」を学ぶための必須の基礎理論となる。</p> <p>「医学データの統計解析」、「健康教育学」と関連する。</p>		

科 目 名	予防保健の実践と評価 [科目番号：41518112]		
タ ー ム	夏季②	単 位 数	2単位
曜日・授業時間帯	8月3～5日の2～4時限、および、8月6～7日の3・4時限		
場 所	医学部教育研究棟13階 公共健康医学専攻 (SPH) 講義室		
担 当 教 員	佐々木 敏		
授 業 の 目 的	<p>地域・職域などをフィールドとして行う疫学研究や予防保健領域の実践活動の計画・実践・評価の方法、政策への活用などについて、さまざまな実例を用いて、実践者・研究者からの紹介を通じて学ぶ。理論だけでは解決できない現実に対して科学性を保ちながらどのように対処するかという実践的な視点からの予防保健の知識や技術の獲得を主な目的とする。</p>		
授 業 の 方 法	<ul style="list-style-type: none"> ・各回1つのテーマを選び、担当教員と外来講師が講義を行い、その後に学生との討論(質疑応答)を行う。 ・テーマごとに資料が配布される。 		
授業計画及び内容 (各回のテーマ)	<ol style="list-style-type: none"> 1) 8/3(2～4時限) 実生活・実社会の中で行う介入試験：「実生活・実社会の中で行われる予防保健分野の介入試験はどのように計画され、実施されるべきか」について、沖縄における食事介入研究の例を交えて学ぶ。 2) 8/4(2～4時限) 公衆衛生行政における疫学研究の意味と役割：公衆衛生行政の視点から、疫学研究のあり方と課題、技術、活用方法について例を交えて学ぶ。 3) 8/5(2～4時限) 地域で行う疫学研究：わが国の代表的なコホート研究である久山町研究を例に、研究の意義、その歴史と実際、求められる技術などについて学ぶ。 4) 8/6(3・4時限) 予防保健の評価技術：「健康日本21」をはじめ、地方自治体が行っている健康施策の評価方法・評価技術について、調査法を中心に実例を交えて学ぶ。 5) 8/7(3・4時限) 地域における医療・予防保健実践活動：理論化・数値化を超えた現実について例を交えて学ぶ。 <p>原則としてすべての日で、担当教員による基礎知識に関する講義、外来講師(実践者・研究者)による講義、外来講師を交えた討論を行う。</p> <p>(注意)期日と内容は変更がありうる。公共健康医学専攻以外の学生は7月下旬に担当教官宛に事前確認をされたい。</p>		
教科書・参考書等	講義毎に異なる。適宜指示する。		
成績評価の方法	講義への出席(配点:およそ4割)ならびに講義内での討論の内容(質問と発言)(配点:およそ6割)を総合的に評価して判定する。		
他の授業との関連	「疫学研究と実践」で学んだ知識・理論を実践につなげられる能力を養うことを目的とする。「医学データの統計解析」、「健康教育学」、「健康医療政策学」と関連する。		

科 目 名	医学データの統計解析 [科目番号：41518113]		
タ ー ム	S1	単 位 数	2
曜日・授業時間帯	木曜日・3,4限		
場 所	医学部教育研究棟 13階 公共健康医学専攻 (SPH) 講義室		
担 当 教 員	松山 裕		
授 業 の 目 的	統計的推測の基礎とともに、医学研究で日常的に用いられる統計解析手法、及びやや高度ながら身に付けておくべき統計解析手法について、実例を中心に教え、医学論文を読むうえで必須となる統計基礎知識を習得させると同時に、自らが統計解析を行ううえでの基礎能力を身に付けることを目的とする。		
授 業 の 方 法	<ul style="list-style-type: none"> ・ テーマごとに資料が配布される。 ・ 毎回の講義に関連したミニレポートを毎週提出すること。 		
授業計画及び内容 (各回のテーマ)	4月 9日 医学研究における統計学の活用 4月 16日 治療効果・曝露効果の指標と 95%信頼区間 4月 23日 2群の比較 4月 30日 層別解析・ロジスティック回帰 5月 7日 分散分析入門・相関と回帰 5月 14日 生存時間解析 5月 21日 経時データ解析入門、サンプルサイズ設計 5月 28日 評価尺度の信頼性と妥当性 期末試験の日時は、7月 27日 (月) 2限 (10時 25分-12時 10分)		
教科書・参考書等	初級者向け参考書 <ul style="list-style-type: none"> ・ はじめて学ぶ医療統計学. 折笠秀樹 監訳 (総合医学社) ・ 一步進んだ医療統計学. 折笠秀樹 監訳 (総合医学社) 中級者以上向け参考書 <ul style="list-style-type: none"> ・ 医学研究における実用統計学. DG Altman 著 木船・佐久間訳 (サイエンティスト社) 医師のための臨床統計学 基礎編. 大橋靖雄 編著 医歯薬出版株式会社		
成績評価の方法	期末試験 (80%)、毎回の小レポート (10%)、出席 (10%) で評価する。		
他の授業との関連	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「医学統計学演習」履修のための基礎となる。 ・ 「疫学研究の実践」、「医学研究のデザイン」、「臨床疫学」と関連する。 		

科 目 名	医学統計学演習 [科目番号：41518114]		
タ ー ム	夏季①	単 位 数	2単位
曜日・授業時間帯	木曜・3～4時限		
場 所	医学部教育研究棟 13階 公共健康医学専攻 (SPH) 講義室		
担 当 教 員	大庭 幸治、柴田 大朗 (非常勤)		
授 業 の 目 的	<p>前半は、「医学データの統計解析」で講義された主要な統計手法について、実例を用いて統計解析ソフト JMP で演習を行う。</p> <p>後半、実際の新医薬品申請資料をグループ内で検討することで、統計解析計画書・報告書の作成実習を行い、その成果に対して討論 (ディベート) を通じて理解を深める。</p>		
授 業 の 方 法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 最初に JMP の使用についての演習を行う。 ・ 前半は各テーマについて簡単なインストラクションを行い、ついで実例を用いた解析演習を行い、レポートを作成する。 ・ 後半では、統計解析計画書・報告書を作成し、その評価を相互に行う。 		
授業計画及び内容 (各回のテーマ)	<p>6月4日 JMP 入門</p> <p>6月11日 2群の比較</p> <p>6月18日 相関と回帰、分散分析</p> <p>6月25日 分割表の解析とロジスティック回帰</p> <p>7月9日 生存時間解析</p> <p>7月16日 医薬品審査の概要と実際 (後半は医薬品審査実習)</p> <p>7月23日 医薬品審査実習</p> <p>7月30日 発表会</p>		
教科書・参考書等	<p>(参考書)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「医学データの統計解析」と同様 ・ SAS によるデータ解析入門 (東大出版会) ・ SAS による実験データの解析 (東大出版会) ・ 生存時間解析：SAS による生物統計 (東大出版会) 		
成績評価の方法	出席 (50%) とレポート (50%) で合・否判定する。		
他の授業との関連	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「医学データの統計解析」履修を条件とする。 ・ 「医学研究のデザイン」と関連する。 		

科 目 名	医学研究のデザイン [科目番号：41518115]		
タ ー ム	夏季①	単 位 数	2
曜日・授業時間帯	火曜日・3、4限		
場 所	医学部教育研究棟 13階 公共健康医学専攻 (SPH) 講義室		
担 当 教 員	松山 裕、林 健一 (非常勤講師)、佐々木 秀雄 (非常勤講師)		
授 業 の 目 的	<p>疫学研究・臨床試験のデザインと実際の研究運営についての講義とともに、事例研究 (ケーススタディ) を行う。</p> <p>主要雑誌に掲載される論文について、特にデザインについて理解するための基礎知識を習得し、共同作業でプロトコルを策定できる能力並びに研究事務局に参画するために必要とされる能力を磨くことを目指す。</p>		
授 業 の 方 法	<ul style="list-style-type: none"> ・ テーマ毎に講義を行う。 ・ デザイン・解析に関する事例研究をグループごとに行い、最終日に報告する。 ・ 事例については、参加学生さんから募ることを基本とする 		
授業計画及び内容 (各回のテーマ)	<p>6/09 研究デザインの分類と特徴：臨床試験のデザイン総論</p> <p>6/16 研究デザインの分類と特徴：疫学研究のデザイン総論</p> <p>6/23 臨床試験のデザインとプロトコル作成：CONSORT による論文チェック</p> <p>6/30 疫学研究のデザインとプロトコル作成：STROBE による論文チェック</p> <p>7/07 データマネージメントと品質管理：研究組織と運営</p> <p>7/14 傾向スコアを用いた研究デザイン：傾向スコアの正しい使い方</p> <p>7/21 事例研究 (ケーススタディ)</p> <p>7/28 発表会</p>		
教科書・参考書等	<p>講義毎に異なるので適宜指示する。ただし以下を国際的にも評価の高い一般的な教科書として推薦する。</p> <p>Hulley et al. (著) 木原・木原訳：医学的研究のデザイン、メディカルサイエンスインターナショナル、2009.</p>		
成績評価の方法	出席 (50%)、レポート・演習報告等 (50%) で評価する		
他の授業との関連	「医学データの統計解析」、「疫学研究と実践」、「臨床疫学」と関連する。		

科 目 名	臨床疫学 [科目番号：41518116]		
タ ー ム	夏季①	単 位 数	2 単位
曜日・授業時間帯	水曜 1・2 時限		
場 所	医学部・教育研究棟 13 階 SPH 講義室		
担 当 教 員	康永秀生 山崎力（東京大学医学部附属病院・臨床試験センター） 吉村典子（東京大学医学部附属病院・関節疾患総合研究講座） 堀口裕正（国立病院機構本部総合研究センター診療情報分析部） 重岡仁（サイモン・フレイザー大学経済学部）		
授 業 の 目 的	臨床疫学研究のテーマは、日常臨床の中に潜んでいる。Clinical practice から research question を紡ぎ出し、研究仮説を立て、適切なデザインを構築し、利用可能なデータから意味のある分析結果を出し、臨床的に妥当な解釈を行う。これら一連のプロセスを遂行するために不可欠となる臨床疫学の理論および実践的な方法論を身につける。		
授 業 の 方 法	事前に渡された関連文献を熟読してくる。それを前提として講義で基礎的知識を提供・整理したのち、既存の研究を題材にディスカッションをしてもらい知識の体系化を図る。		
授業計画及び内容 (各回のテーマ)	1) (6月10日1限) 臨床疫学の基礎知識1 (康永) 2) (6月10日2限) 臨床疫学の基礎知識2 (康永) 3) (6月17日1限) 健診・検診 (康永) 4) (6月17日2限) 臨床診断 (康永) 5) (6月24日1限) リスク・予後 (康永) 6) (6月24日2限) 医療の質研究 (康永) 7) (7月1日1限) 症例対照研究/コホート研究の理論 (康永) 8) (7月1日2限) コホート研究の実際 (吉村) 9) (7月8日1限) 回帰分析の注意点 (康永) 10) (7月8日2限) 回帰分断デザイン(regression discontinuity)、 差の差の検定(difference in difference test) (重岡) 11) (7月15日1限) 傾向スコア分析(propensity score analysis) (康永) 12) (7月15日2限) 操作変数法(instrumental variable method) (康永) 13) (7月22日1限) 大規模データベースによる臨床疫学研究 (康永/堀口) 14) (7月22日2限) 研究者主導臨床試験入門 (山崎) 15) 16) (7月29日1・2限) レポート発表会 (康永) ※講義の順番は変更することがある		
教科書・参考書等	Fletcher RW, Fletcher SW. Clinical Epidemiology; The Essentials. Fifth Edition. Lippincott, Williams & Wilkins. 2012		
成績評価の方法	出席点 50 点、レポート 50 点		
他の授業との関連	「疫学研究と実践」「医学データの統計解析」「医学研究のデザイン」などと関連する。「臨床疫学・経済学演習」と強く関連する。 <u>非医師の学生で本講義の履修を希望する者は、S1 ターム「臨床医学概論」の履修を強く推奨する。</u>		

科 目 名	臨床疫学・経済学演習 [科目番号：41518117]																																																										
タ ー ム	A2・W	単 位 数	2単位																																																								
曜日・授業時間帯	木曜・3～4 時限																																																										
場 所	医学部・教育研究棟 13 階 SPH 講義室																																																										
担 当 教 員	康永秀生																																																										
授 業 の 目 的	<p>1.研究費申請書の書き方を学ぶ。 各自の臨床または公衆衛生の経験をもとに研究テーマを確立し、研究の背景・目的・方法・期待される結果を記述し、研究経費の見積もり等を作成する、実践的なスキルを身につける。</p> <p>2.医学英語論文の書き方を学ぶ。 医学英語論文を書くための基本的な知識と技術を学ぶ。力のある学生は、研究費申請書に基づいて、論文の Introduction と Methods まで執筆する。 <u>※10名程度まで受け入れ可</u>（研究費申請や論文執筆の経験の有無は問わない）</p>																																																										
授 業 の 方 法	原則として、3 限は医学英語論文の書き方演習、4 限は和文の研究費申請書（文部科学研究・基盤 C または若手 B のフォーマットに従う）作成の個別指導。																																																										
授業計画及び内容 (各回のテーマ)	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th></th> <th>3 限</th> <th>4 限</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>11/12</td> <td>医学論文を書くための準備(1)</td> <td>研究費申請書の書き方</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>11/19</td> <td>医学論文を書くための準備(2)</td> <td>個別指導</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>11/26</td> <td>Title の書き方</td> <td>個別指導</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>12/3</td> <td>Abstract の書き方</td> <td>個別指導</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>12/10</td> <td>Introduction の書き方</td> <td>研究計画の口頭説明</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>12/17</td> <td>Methods, Results の書き方</td> <td>個別指導</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>1/7</td> <td>Discussion の書き方(1)</td> <td>個別指導</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>1/14</td> <td>Discussion の書き方(2)</td> <td>個別指導</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>1/21</td> <td colspan="2">研究計画の中間発表</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>1/28</td> <td>論文投稿から掲載まで</td> <td>個別指導</td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>2/4</td> <td>査読コメントの書き方(1)</td> <td>個別指導</td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>2/18</td> <td>査読コメントの書き方(2)</td> <td>個別指導</td> </tr> <tr> <td>13</td> <td>2/25</td> <td colspan="2">研究費申請書の審査</td> </tr> </tbody> </table> <p>※講義・演習の順番は変更となることがある。 ※各自ノートパソコンを持参すること。</p>					3 限	4 限	1	11/12	医学論文を書くための準備(1)	研究費申請書の書き方	2	11/19	医学論文を書くための準備(2)	個別指導	3	11/26	Title の書き方	個別指導	4	12/3	Abstract の書き方	個別指導	5	12/10	Introduction の書き方	研究計画の口頭説明	6	12/17	Methods, Results の書き方	個別指導	7	1/7	Discussion の書き方(1)	個別指導	8	1/14	Discussion の書き方(2)	個別指導	9	1/21	研究計画の中間発表		10	1/28	論文投稿から掲載まで	個別指導	11	2/4	査読コメントの書き方(1)	個別指導	12	2/18	査読コメントの書き方(2)	個別指導	13	2/25	研究費申請書の審査	
		3 限	4 限																																																								
1	11/12	医学論文を書くための準備(1)	研究費申請書の書き方																																																								
2	11/19	医学論文を書くための準備(2)	個別指導																																																								
3	11/26	Title の書き方	個別指導																																																								
4	12/3	Abstract の書き方	個別指導																																																								
5	12/10	Introduction の書き方	研究計画の口頭説明																																																								
6	12/17	Methods, Results の書き方	個別指導																																																								
7	1/7	Discussion の書き方(1)	個別指導																																																								
8	1/14	Discussion の書き方(2)	個別指導																																																								
9	1/21	研究計画の中間発表																																																									
10	1/28	論文投稿から掲載まで	個別指導																																																								
11	2/4	査読コメントの書き方(1)	個別指導																																																								
12	2/18	査読コメントの書き方(2)	個別指導																																																								
13	2/25	研究費申請書の審査																																																									
教科書・参考書等	なし																																																										
成績評価の方法	出席 30%、レポート 30%、最後に提出する研究費申請書 40%により評価する。																																																										
他の授業との関連	<p><u>「臨床疫学」講義の履修を必須とする。</u></p> <p><u>受講希望者を7月中に募集する。</u></p> <p><u>受講希望者が10名を超える場合は、「臨床疫学」講義の成績上位者を優先する。</u></p>																																																										

科目名	保健医療経済学 [科目番号：41518118]		
タ　　ム	S1	単　　位　　数	2単位
曜日・授業時間帯	水曜・1-2時限		
場　　所	医学部教育研究棟 13階 公共健康医学専攻 (SPH) 講義室		
担　当　教　員	康永秀生 泉田信行 (国立社会保障・人口問題研究所) 後藤励 (京都大学大学院経済学研究科)		
授　業　の　目　的	1. 医療経済学の基礎知識を身に着ける。 2. 医療経済学分析の方法論に関する基本を学ぶ。 3. 医療経済学の考え方に沿って、現実の医療経済政策における個別の課題について考察する力をつける。		
授　業　の　方　法	講義、ディスカッション、レポート		
授業計画及び内容 (各回のテーマ)	1) 医療経済学の基礎1 (康永) (4月8日 1限) 2) 医療経済学の基礎2 (康永) (4月8日 2限) 3) 保険の理論 (康永) (4月15日 1限) 4) 医療サービスの生産効率性 (康永) (4月15日 2限) 5) 医療サービス市場における競争・規制 (康永) (4月22日 1限) 6) 供給者誘発需要仮説 (康永) (4月22日 2限) 7) 健康資本のグロスマン・モデル (泉田) (5月13日 1限) 8) 医療従事者の労働市場 (泉田) (5月13日 2限) 9) 医療費増加の要因 (康永) (5月20日 1限) 10) 比較制度論 (康永) (5月20日 2限) 11) 医療経済学と医療政策1 (康永) (5月27日 1限) 12) 保健行動経済学(後藤) (5月27日 2限) 13) 医療経済学と医療政策2 (康永) (6月3日 1限) 14) 医療経済学と医療政策3 (康永) (6月3日 2限) ※各講義の順番は変更することがある		
教科書・参考書等	橋本英樹/泉田信行編. 医療経済学講義. 東京大学出版会		
成績評価の方法	出席 50%、レポート 50%		
他の授業との関連	「医療技術評価学演習」、「健康医療政策学」などに関連する。		

科 目 名	医療コミュニケーション学 [科目番号：41518120]		
タ ー ム	S1	単 位 数	2単位
曜日・授業時間帯	火曜 3、4 時限		
場 所	医学部教育研究棟 13 階 公共健康医学専攻 (SPH) 講義室		
担 当 教 員	木内貴弘、石川ひろの		
授 業 の 目 的	<p>本講義の目的は、医療コミュニケーション（ヘルスコミュニケーション）の理論と実践を体系的に学習することにある。</p> <p>医療コミュニケーション学（ヘルスコミュニケーション学）とは、医療・公衆衛生分野を対象としたコミュニケーション学であり、医療従事者間、医療従事者と患者市民間、患者市民間等における健康や医療に関連した知識や情報などのコミュニケーションを対象とする。医療コミュニケーションは、医学・医療と社会のインターフェイスとして、パブリックヘルス分野において、非常に重要な意味を持っている。従来、ヒト対ヒトのいわゆるヒューマンコミュニケーションを主体に考えられてきたが、現在では、これに加えて、インターネット、マスメディア、コンピュータ・ゲーム機等を介したコミュニケーションの意義・役割が増大している。</p> <p>本講義では、個人あるいは社会としての最適な健康上のアウトカムを得るために、医学・医療に関する知識・情報を、正確かつ効果的に伝達し、受け手に理解してもらうために必要な、(1)コミュニケーションの理論体系、(2)コミュニケーションの実務的方法論、(3)コミュニケーションの評価・分析方法等を取り扱うとともに、医療コミュニケーションの具体的な実践例の紹介と分析も行う（具体的な内容は下記の「授業計画及び内容」を参照のこと）。本講義の受講によって、医療コミュニケーションを実践し、改善していくために必要な基礎的な知識を得ることができる。</p>		
授 業 の 方 法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各回1テーマの講義を行う。 ・ テーマに基づいた追加資料の配布や事例の紹介を行うことがある。 		
授業計画及び内容 (各回のテーマ)	日時	内容	担当
	4月7日(火) 13:00-14:45	I. 医療コミュニケーション学総論 医療コミュニケーション学とは	木内貴弘
	4月7日(火) 14:55-16:40	II. 対人コミュニケーション カウンセリング入門	久田満 (上智大学)
	4月14日(火) 13:00-14:45	II. 対人コミュニケーション 患者市民からみた医療者との関係とコミュニケーション	山口育子 (COML)
	4月14日(火) 14:55-16:40	II. 対人コミュニケーション 保健医療専門職の教育とプロフェッショナルリズム	北村聖 (医学教育国際研究センター)
	4月21日(火) 13:00-14:45	I. 医療コミュニケーション学総論 医療コミュニケーションの評価と実証研究	石川ひろの
	4月21日(火) 14:55-16:40	III. メディア・コミュニケーション ヘルスケア営利企業の広報とコミュニケーション	加藤美生 (日本イーライリリー株式会社)
	4月28日(火) 13:00-14:45	II. 対人コミュニケーション 個人の行動変容を促すコミュニケーション	石川雄一 (日本ヘルスサイエンスセンター)
	4月28日(火) 14:55-16:40	II. 対人コミュニケーション 集団の行動変容を促すコミュニケーション	石川善樹 (株式会社キャンサースキャン)
	5月12日(火) 13:00-14:45	III. メディア・コミュニケーション 新聞	阿部文彦 (読売新聞)

	<table border="1"> <tr> <td>5月12日(火) 14:55-16:40</td> <td>Ⅲ. メディア・コミュニケーション テレビ</td> <td>市川衛 (NHK)</td> </tr> <tr> <td>5月19日(火) 13:00-14:45</td> <td>Ⅲ. メディア・コミュニケーション メディア報道と保健医療情報のコミュニケーション</td> <td>渡邊清高 (帝京大学)</td> </tr> <tr> <td>5月19日(火) 14:55-16:40</td> <td>Ⅲ. メディア・コミュニケーション 個人の問題から社会の問題へ:自殺対策政策実現の裏側</td> <td>清水康之 (ライフリンク)</td> </tr> <tr> <td>5月26日(火) 13:00-14:45</td> <td>Ⅲ. メディア・コミュニケーション インターネット</td> <td>中山和弘 (聖路加国際大学)</td> </tr> <tr> <td>5月26日(火) 14:55-16:40</td> <td>Ⅲ. メディア・コミュニケーション エンターテインメント・エデュケーション</td> <td>石川ひろの</td> </tr> </table>	5月12日(火) 14:55-16:40	Ⅲ. メディア・コミュニケーション テレビ	市川衛 (NHK)	5月19日(火) 13:00-14:45	Ⅲ. メディア・コミュニケーション メディア報道と保健医療情報のコミュニケーション	渡邊清高 (帝京大学)	5月19日(火) 14:55-16:40	Ⅲ. メディア・コミュニケーション 個人の問題から社会の問題へ:自殺対策政策実現の裏側	清水康之 (ライフリンク)	5月26日(火) 13:00-14:45	Ⅲ. メディア・コミュニケーション インターネット	中山和弘 (聖路加国際大学)	5月26日(火) 14:55-16:40	Ⅲ. メディア・コミュニケーション エンターテインメント・エデュケーション	石川ひろの
5月12日(火) 14:55-16:40	Ⅲ. メディア・コミュニケーション テレビ	市川衛 (NHK)														
5月19日(火) 13:00-14:45	Ⅲ. メディア・コミュニケーション メディア報道と保健医療情報のコミュニケーション	渡邊清高 (帝京大学)														
5月19日(火) 14:55-16:40	Ⅲ. メディア・コミュニケーション 個人の問題から社会の問題へ:自殺対策政策実現の裏側	清水康之 (ライフリンク)														
5月26日(火) 13:00-14:45	Ⅲ. メディア・コミュニケーション インターネット	中山和弘 (聖路加国際大学)														
5月26日(火) 14:55-16:40	Ⅲ. メディア・コミュニケーション エンターテインメント・エデュケーション	石川ひろの														
教科書・参考書等	<ul style="list-style-type: none"> • Athena du Pre. Communicating About Health: Current Issues and Perspectives. 4th ed. Oxford University Press. 2013 • Peter G. Northouse & Laurel L. Northouse 著. 萩原明人 訳. ヘルス・コミュニケーション 改訂版. 九州大学出版会. 2010 • Debra L. Roter & Judith A. Hall 著. 石川ひろの、武田裕子 訳. 患者と医師のコミュニケーション—より良い関係作りの科学的根拠. 篠原出版新社. 2007 • 藤崎和彦、橋本英樹 著. 医療コミュニケーション研究会 編. 医療コミュニケーション—実証研究への多面的アプローチ. 篠原出版新社. 2010 															
成績評価の方法	講義への出席 (30%)、レポート (70%) による。															
他の授業との関連	医療コミュニケーション学は、公衆衛生学・医学・医療のあらゆる分野と関係しているが、健康社会学、健康教育学、健康増進科学、医療安全管理学との関係が深い。															

科目名	医療コミュニケーション学演習 [科目番号：41518122]		
ターム	夏季	単位数	2単位
曜日・授業時間帯	水曜3-4限		
場所	医学部教育研究棟13階 公共健康医学専攻 (SPH) 講義室		
担当教員	木内貴弘 石川ひろの		
授業の目的	医療コミュニケーションの実践に必要な演習を行うことによって、「医療コミュニケーション学」の講義で学んだ様々な理論や実践法に対する理解を深めるとともに、具体的な医療コミュニケーションの場（医療機関、官公庁、教育機関、研究機関、患者支援組織、マスコミ等）でこれらを生かすことができるようにすることを目的とする。		
授業の方法	<ul style="list-style-type: none"> 各回、課題にもとづいて演習・発表・討論を行う。 演習毎にプレゼンテーション、レポート提出、相互評価等を行う。 		
授業計画及び内容 (各回のテーマ)	月日	内容	担当
	6月10日(水) 13:00-16:40	I. 対人コミュニケーション演習 MBTIに基づくコミュニケーション演習 (1)	園田由紀 (日本MBTI協会)
	6月17日(水) 13:00-16:40	I. 対人コミュニケーション演習 MBTIに基づくコミュニケーション演習 (2)	園田由紀 (日本MBTI協会)
	6月24日(水) 13:00-16:40	I. 対人コミュニケーション演習 MBTIに基づくコミュニケーション演習 (3)	園田由紀 (日本MBTI協会)
	7月1日(水) 13:00-16:40	II. メディアコミュニケーション演習 インターネットコミュニケーション演習 (1) 注意：ノートPC必要	木内貴弘 石川ひろの
	7月8日(水) 13:00-16:40	I. 対人コミュニケーション演習 コーチング演習	田口智博 (三重大学)
	7月15日(水) 13:00-16:40	II. メディアコミュニケーション演習 マス・コミュニケーション演習 <ul style="list-style-type: none"> 新聞記事の執筆と評価（記者会見演習） 既存の新聞記事の評価・分析 注意：ノートPC必要	木内貴弘 石川ひろの
	7月22日(水) 13:00-16:40	I. 対人コミュニケーション演習 接遇演習	佐藤憂子 (東京歯科大学)
	7月29日(水) 13:00-16:40	II. メディアコミュニケーション演習 インターネットコミュニケーション演習 (2) 注意：ノートPC必要	木内貴弘 石川ひろの
教科書・参考書等	<ul style="list-style-type: none"> 田近秀敏：[実践]ビジネス・コーチング—プロフェッショナル・コーチの道具箱、PHP 研究所、2003 園田由紀（訳）：MBTI への招待—C.G.ユングの「タイプ論」の応用と展開、金子書房、2002 梅田望夫：ウェブ進化論 本当の大変化はこれから始まる、ちくま新書、2006 		
成績評価の方法	演習への参加（50%）、演習内でのプレゼンテーション（20%）、作成した資料・レポート（30%）によって評価する。やむを得ず欠席する場合には、事前に事情を届け出れば、別途レポートの提出に代える場合がある。		
他の授業との関連	「医療コミュニケーション学」講義の受講が望ましいが、「医療コミュニケーション学」講義の知識は前提としない。		

科 目 名	医療技術評価学演習 [科目番号：41518124]		
タ ー ム	W	単 位 数	1 単位
曜日・授業時間帯	木曜2限（10時25分—12時10分）		
場 所	医学部教育研究棟13階 公共健康医学専攻（SPH）講義室		
担 当 教 員	康永秀生 池田俊也（国際医療福祉大学） 福田敬（国立保健医療科学院） 白岩健（国立保健医療科学院） 五十嵐中（薬学系研究科）		
授 業 の 目 的	<ul style="list-style-type: none"> ・医療技術評価(Health Technology Assessment, HTA)の基本を身に着ける。 ・費用効果分析のための臨床アウトカム及びコスト情報の収集、QOL 評価、決定樹・マルコフモデルの作成、費用対効果の算出、感度分析などの一連の医療経済評価手法を学ぶ。 		
授 業 の 方 法	系統講義。一部、電卓やパソコンを用いた演習を行う。		
授業計画及び内容 (各回のテーマ)	<ol style="list-style-type: none"> 1. (1月7日) 医療技術評価学の基礎 (康永) 2. (1月14日) QOL 評価 (五十嵐) 3. (1月21日)メタアナリシス (白岩) 4. (1月28日) 費用効果分析・その1 (康永) 5. (2月4日) 費用効果分析・その2 (康永) 6. (2月18日) 国内外の医療技術評価の動向 (福田) 7. (2月25日) 医療技術評価と医療政策 (池田) ※講義の順番は変更することがある		
教科書・参考書等	Drummond MF, et al. Methods for the Economic Evaluation of Health Care Programmes Third Edition. 2005 医療技術の経済評価と公共政策. じほう 2013		
成績評価の方法	出席 50%、レポート 50%		
他の授業との関連	「保健医療経済学」、「臨床疫学」の各講義と関連する。		

科 目 名	臨床医学概論 [科目番号：41518216]		
タ ー ム	S1	単 位 数	1
曜日・授業時間帯	木曜日・2限		
場 所	医学部教育研究棟 13階 公共健康医学専攻 (SPH) 講義室		
担 当 教 員	康永秀生		
授 業 の 目 的	非医師の学生向け。 医学部医学科の初歩レベルの臨床医学に関する知識のエッセンスを学ぶ。		
授 業 の 方 法	系統講義を通して、解剖・生理、診断・治療の要点を学ぶ。		
授業計画及び内容 (各回のテーマ)	1. 脳神経 (4/9) 2. 循環器 (4/16) 3. 呼吸器 (4/23) 4. 消化器 (4/30) 5. 腎・泌尿器、生殖器 (5/7) 6. 感覚器、運動器 (5/14) 7. 感染症、中毒、血液 (5/21) 8. 内分泌・代謝、膠原病・アレルギー (5/28) ※講義の順番は変更することあり		
教科書・参考書等	毎回、テーマ毎に資料が配布される		
成績評価の方法	出席 50%、レポート 50%		
他の授業との関連	「疫学研究と実践」、「医学研究のデザイン」と関連する。 「臨床疫学」、「臨床疫学・経済学演習」とは強く関連する。 <u>非医師の学生で「臨床疫学」講義の履修を希望する者は、本講義の履修を強く推奨する。</u>		

科 目 名	医学研究と CDISC 標準 [科目番号：41518127]		
タ ー ム	A 2	単 位 数	1 単位
曜日・授業時間帯	水曜日・3限		
場 所	医学部教育研究棟 13 階 公共健康医学専攻 (SPH) 講義室		
担 当 教 員	木内貴弘 石川ひろの		
授 業 の 目 的	<p>治験のデータ交換の国際標準として、日本の規制当局が製薬会社等に医薬品等の許認可申請における義務付けを決めた CDISC(Clinical Data Interchange Standards Consortium)標準について講義を行う。CDISC 標準は、治験データ及びメタデータの電子的な収集、交換、申請、アーカイブ化等の治験実施のあらゆる場面で活用が可能である。今後、治験用に開発されたパッケージソフトウェア、ツール等が、アカデミックな臨床研究等にもそのまま活用されるようになると予想され、アカデミックな臨床研究等でもデータ交換の国際標準となることは確実である。</p>		
授 業 の 方 法	<p>初回到全体の総論、2回目以降に各論について、スライド、配布資料を用いて、講義及び質疑応答を行う。</p>		
授業計画及び内容 (各回のテーマ)	日時	内容	担当
	11月4日(水) 13:00-14:45	I. CDISC 標準概論 CDISC 標準とは	木内貴弘
	11月11日(水) 13:00-14:45	II. CDISC CDASH EDC 向けデータ収集用変数仕様 CDASH	山口裕志 (グラクソ・スミス・クライン株式会社)
	11月18日(水) 13:00-14:45	III. CDISC SDTM 新薬承認申請用データモデル SDTM	千葉吉輝 (株式会社 ChibaPlanningOffice)
	11月25日(水) 13:00-14:45	IV. CDISC ODM オペレーショナルデータモデル	千葉吉輝 (株式会社 ChibaPlanningOffice)
	12月2日(水) 13:00-14:45	V. CDISC SEND 非臨床データモデル	藤村義則 (富士通株式会社)
	12月9日(水) 13:00-14:45	VI. CDISC ADaM 統計解析用データセット ADaM	大津洋 (順天堂大学大学院 助教)
	12月16日(水) 13:00-14:45	VII. CDSIC 標準による電子申請 日本における新薬承認申請の現状と展望	安藤友紀 (医薬品医療機器総合機構)
教科書・参考書等	<p>教材として、スライドのハンドアウトを各回に配布する。また CDISC ホームページ (http://www.cdisc.org/) を必要に応じ、参照すること。</p>		
成績評価の方法	<p>出席(50%)及びレポート(50%)により総合的に評価する。</p>		
他の授業との関連	<p>医学データの統計解析、医学研究のデザイン、公共健康情報学、医療情報システム学、医療コミュニケーション学と関係を有し、共に受講することが望ましい。</p>		

科目名	精神保健学Ⅰ [科目番号：41518211]		
学期	S1・夏季	単位数	2単位
曜日・授業時間帯	火曜日・5限(16:50-18:35)		
場所	医学部教育研究棟13階 公共健康医学専攻 (SPH) 講義室		
担当教員	川上憲人、島津明人、非常勤講師		
授業の目的	精神保健の疫学を理解し、効果的な第一次、第二次、第三次予防対策を立案することができるようになるために、精神保健疫学の基礎および精神保健対策の科学的根拠を学ぶと同時に、事例研究(ケーススタディ)を通じて基礎的かつ実践的な能力を身につけることを目的とする。		
授業の方法	各回1テーマの講義あるいは事例研究(ケーススタディ) 担当教員(または非常勤講師)による講義を行う。あるいは学生がテーマに関して発表しこれに担当教員が補足を行い、全員で討論する。		
授業計画及び内容 (各回のテーマ)	4/7 1) オリエンテーション、総論 4/14 2) 精神疾患の疫学 4/21 3) 精神健康の測定法とスクリーニング 4/28 4) 精神保健のサービス利用 5/12 5) 精神健康と心理社会的支援 5/19 6) 課題発表1：精神保健対策の科学的根拠(その1) 5/26 7) 課題発表1：精神保健対策の科学的根拠(その2) 6/2 (休講) 6/9 8) トピックス①：自殺予防対策 6/16 9) トピックス②：精神保健行政の現状と課題 6/23 10) トピックス③：国際精神保健 6/30 11) トピックス④：災害時の精神保健 7/7 (休講) 7/14 12, 13) 課題発表2：精神保健の対策を立案する(5, 6限) ※ ※最終回のみ授業時間が16:50-20:30となるので注意すること。		
教科書・参考書等	教科書は指定しない。毎回、講義資料を配付する。		
成績評価の方法	出席(25%)、課題発表(25%)およびレポート(50%)により総合的に評価する。		
他の授業との関連	職場における精神保健対策について学ぶ「精神保健学特論Ⅱ」と関連する。		

科目名	精神保健学Ⅱ [科目番号：41518212]		
タ　　ー　　ム	A2・W	単　　位　　数	2
曜日・授業時間帯	火曜日・5限（16:50-18:35）		
場　　所	医学部・教育研究棟13階 公共健康医学専攻講義室		
担　　当　　教　　員	島津明人、川上憲人、非常勤講師		
授　　業　　の　　目　　的	職場のメンタルヘルスの専門職として必要とされる知識・技術を、講義および事例研究とその後の討論によって習得することを目的とする。具体的には、制度・法規、利用者の状態および特性を踏まえた対応、関連職種間の連携、近年の社会経済情勢を踏まえた対策について学び、具体的な対策を現場で進めることのできる能力を養成する。		
授　　業　　の　　方　　法	各回1テーマの講義あるいは事例研究（ケーススタディ） 担当教員（または非常勤講師）による講義と全員での討論。		
授業計画及び内容 （各回のテーマ）	11/10 コース概要，産業精神保健総論 11/17 メンタル不調者対応の基本的な枠組み・専門職が留意すべきこと 11/24 産業保健マネジメントの中でのメンタルヘルス対策 12/ 1 外部EAPによるメンタルヘルス支援 12/ 8 ワーク・ライフ・バランスとメンタルヘルス 12/15 腰痛とメンタルヘルス 12/22 職場のいじめとメンタルヘルス 1/ 5 経営と産業保健は協調できるか？ 1/12 組織・個人の活性化とポジティブメンタルヘルス 1/26 労働者の復職支援プログラム 2/ 2 中小規模事業所のメンタルヘルス対策 2/ 9 人事からみたメンタルヘルス対策 2/16 海外勤務者のメンタルヘルス支援 2/23 これからの職場のメンタルヘルス		
教科書・参考書等	毎回、講義資料を配付する。		
成績評価の方法	出席（30%）、レポート（70%）により総合的に評価する。		
他の授業との関連	精神保健疫学と対策の基礎について学ぶ「精神保健学Ⅰ」を受講していることが望ましい。		

科目名	健康教育学 [科目番号：41518213]		
ターム	W	単位数	2単位
曜日・授業時間帯	金曜 1～2 時限		
場 所	医学部教育研究棟 13 階 公共健康医学専攻 (SPH) 講義室		
担当教員	橋本英樹、岩永俊博 (ヘルスプロモーション研究センター)、坂野純子 (岡山県立大学)、戸津崎貴文 (みずほ銀行)		
授業の目的	生活習慣・健康行動変容に関する理論を講義でまず鳥瞰した後、各理論のフレームを用いて実践的プログラム立案を行う上での長所・短所・限界点をクラス内ディスカッション・レポートで深める。		
授業の方法	講義・ディスカッション		
授業計画及び内容 (各回のテーマ)	1/15 1)1 限 Micro-meso level of behavioral theories I (橋本) 1/15 2)2 限 Micro-meso level of behavioral theories II (橋本) 1/22 3)1 限 Welfare and wellbeing (坂野) 1/22 4)2 限 Salutogenesis and empowerment (坂野) (1・22 は 3 号館 1 階 N101 で実施) 1/29 5)1 限 Empowerment approach in community I (岩永) 1/29 6)2 限 Empowerment approach in community II (岩永) 2/5 7)1 限 Population level of behavioral theories I (橋本) 2/5 8)2 限 Population level of behavioral theories II (橋本) 2/12 9)1 限 Health marketing in workplace I (戸津崎) 2/12 10)2 限 Health marketing in workplace II (戸津崎) 2/19 11)1 限 Health literacy and health promotion (橋本) 2/19 12)2 限 Media communication and marketing (橋本) 2/26 13)1 限 Decision making and public health ethics 2 限は予備		
教科書・参考書等	Glanz K, et al. Health Behavior and Health Education; Theory, Research and Practice. 4th eds. John Willey and Sons, 2008 畑 栄一, 土井 由利子. 行動科学 —健康づくりのための理論と応用. 南江堂 第 2 版 :他、適宜配布		
成績評価の方法	出席ならびに講義中発言(40%)・課題およびレポート(60%)		
他の授業との関連	「予防保健の実践と評価」「健康増進科学」「社会と健康 I」などに関連する		

科目名	健康社会学 [科目番号：41518214]		
ターム	A2	単位数	2単位
曜日・授業時間帯	金曜 1~2 時限		
場 所	医学部教育研究棟 13 階 公共健康医学専攻 (SPH) 講義室		
担当教員	橋本英樹、杉澤秀博 (桜美林大学)、朝倉隆司 (学芸大学)、中山和弘 (聖路加看護大学)		
授業の目的	社会学を基本軸として、健康を社会的文脈で考察する知的基盤を提供する。具体的には社会学理論を鳥瞰したうえで、健康科学との接点として医療・医師・社会的健康決定要因などを題材として取り扱う。		
授業の方法	講義・ディスカッション		
授業計画及び内容 (各回のテーマ)	11/6 1)1 限 Perspective of sociology 11/6 2)2 限 Perspective of "Health/medical sociology" 11/13 3)1 限 Medicine as social system 11/13 4)2 限 Medicine as power politics 11/20 5)1 限 The social world of doctor 11/20 6)2 限 The social world of patient 11/27 7)1 限 Social support/network and health (杉澤) 11/27 8)2 限 Social stratification and health (橋本) 12/4 9) 1 限 Culture and health (朝倉) 12/4 10) 2 限 Alternative and holistic medicine (中山) 12/11 11) 1 限 Lay epidemiology, illness behavior, and sociology of health promotion (橋本) 12/11 12)2 限 Sociology of body and emotion (橋本) 12/18 13) 1 限 wrap up (2 限は予備)		
教科書・参考書等	Lupton D. Medicine as culture; illness, disease, and the body. 2 nd eds. SAGE, 2003 他、適宜配布		
成績評価の方法	出席ならびに講義中発言(40%)・課題およびレポート(60%)		
他の授業との関連	「社会と健康 I」「精神保健学」「医療倫理学」などに関連する		

科 目 名	健康増進科学 [科目番号：41518217]		
タ ー ム	A2	単 位 数	2 単位
曜日・授業時間帯	火曜・3～4 時限		
場 所	医学部・教育研究棟 13 階 SPH 講義室		
担 当 教 員	李 廷秀		
授 業 の 目 的	<p>健康増進科学の基本的な考え方と健康増進活動の実践について、歴史的背景と最新の動向から体系的に理解することを目的とする。</p> <p>健康増進活動の実践については、栄養・食生活、運動・身体活動等の行動変容と、これらの行動と関連する地域社会における生活環境の観点から習得する。</p> <p>具体的には、健康関連問題に関する種々の情報を収集・分析・アセスメントし、その結果から適切な健康関連課題及び対策の設定ならびに実践プログラムとしての集団アプローチと個別アプローチを立案・実施・評価する能力を養う。</p>		
授 業 の 方 法	<ul style="list-style-type: none"> 各回1テーマの講義と少人数グループ討論（ディベート） 講義の際に資料を配付する 		
授業計画及び内容 (各回のテーマ)	<p>予定日 各回のテーマ</p> <p>11月10日 概論－そのⅠ（健康増進科学とは） 概論－そのⅡ（歴史と理論的背景）</p> <p>11月17日 健康問題のアセスメントと課題設定（循環器疾患） 健康問題のアセスメントと課題設定（循環器疾患の危険因子）</p> <p>11月24日 健康問題のアセスメントと課題設定（悪性新生物） 健康問題のアセスメントと課題設定（悪性新生物の危険因子）</p> <p>12月1日 生活行動のアセスメントと対策（栄養・食生活） 生活環境のアセスメントと対策（食環境）</p> <p>12月8日 生活行動のアセスメントと対策（身体活動・運動） 生活環境のアセスメントと対策（居住地域環境）</p> <p>12月15日 高齢者の健康増進科学－エビデンスと施策評価－ 介護予防施策の現状・課題・新しい根拠にもとづく提言</p>		
教科書・参考書等	<ul style="list-style-type: none"> 国民衛生の動向（厚生統計協会、厚生指標臨時増刊） 予防医学のストラテジー（医学書院） ヘルスプロモーション（医学書院） 実践ヘルスプロモーション（医学書院） 健康行動と健康教育（医学書院） 国保ヘルスアップモデル事業個別健康支援プログラム実施マニュアル（厚生労働省） 標準的な健診・保健指導に関するプログラム（厚生労働省） 健康日本21、健康日本21（第二次）報告書（厚生労働省） 国民健康栄養調査報告書（厚生労働省） 		
成績評価の方法	授業毎のレポート（50%）、出席（30%）及び講義への積極的な参加状況（20%）により評価する		
他の授業との関連			

科 目 名	医療倫理学 I [科目番号：41518218]		
タ ー ム	S1	単 位 数	2
曜日・授業時間帯	木曜・5～6 時限		
場 所	医学部教育研究棟 13 階 公共健康医学専攻 (SPH) 講義室		
担 当 教 員	瀧本 禎之		
授 業 の 目 的	公衆衛生領域の政策決定や臨床現場における倫理的判断の基礎となる倫理・哲学的な考え方を教える。医療倫理学総論、インフォームド・コンセント、研究倫理などを取り上げ、全体講義と少人数討論（ディベート）を行う。学生は、講義を聴講するとともに、レポートを提出することが求められる。		
授 業 の 方 法	各回、最初に全体講義を行い、当該テーマに関する必要知識を教授する。さらに、当該知識を実践に活用するための訓練として、少人数のグループに分かれ、用意した課題に関してディスカッションを行う。		
授業計画及び内容 (各回のテーマ)	<p>初回は 2015 年 4 月 9 日</p> <p>(1) 生命・医療倫理学とは / 倫理学の基礎 1</p> <p>(2) 倫理学の基礎 2 / 医療倫理の原則と重要概念</p> <p>(3) 臨床症例の倫理的検討法</p> <p>(4) ケアの倫理 / 生殖補助医療</p> <p>(5) IC の法理 / 終末期医療</p> <p>(6) 守秘義務 / 研究倫理</p> <p>(7) 模擬倫理委員会</p>		
教科書・参考書等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 赤林朗 (編著) 『入門・医療倫理 I』 勁草書房 ・ Jonsen, A.R. et al. 著 (赤林、蔵田、児玉監訳) 『第 5 版臨床倫理学—臨床医学における倫理的決定のための実践的なアプローチ』 新興医学出版 ・ 赤林朗編著 『ケースブック 医療倫理』 医学書院 ・ Hope, T. 著 (児玉聡・赤林朗訳) 『一冊で分かる医療倫理』 岩波書店 		
成績評価の方法	平常点 (30%)、及び最終レポート点数 (70%) により評価する。		
他の授業との関連	「医療倫理学 II」受講の基礎となる内容である。		

科 目 名	医療倫理学Ⅱ [科目番号：41518219]		
タ ー ム	夏季①	単 位 数	2
曜日・授業時間帯	木曜・5～6 時限		
場 所	医学部教育研究棟 13 階 公共健康医学専攻 (SPH) 講義室		
担 当 教 員	瀧本 禎之		
授 業 の 目 的	公衆衛生倫理と臨床倫理コンサルテーションの 2 つの領域に関して実践的な知識を涵養するために、全体講義と少人数討論 (ディベート) を行う。学生は、講義を聴講するとともに、レポートを提出することが求められる。		
授 業 の 方 法	各回、最初に全体講義を行い、当該テーマに関する必要知識を教授する。さらに、当該知識を実践に活用するための訓練として、少人数のグループに分かれ、用意した課題に関してディスカッションを行う。		
授業計画及び内容 (各回のテーマ)	<p>初回は 2015 年 6 月 11 日</p> <p>(1) 公衆衛生倫理入門</p> <p>(2) 公衆衛生・政治哲学</p> <p>(3) 研究者の倫理と不正 / 医療における意思決定</p> <p>(4) 倫理コンサルテーション I</p> <p>(5) 資源配分と新型インフルエンザ</p> <p>(6) 健康格差と正義</p> <p>(7) 倫理コンサルテーション II</p>		
教科書・参考書等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 赤林朗(編著)『入門・医療倫理 I』勁草書房 ・ Jonsen, A.R. et al. 著 (赤林、蔵田、児玉監訳)『第 5 版臨床倫理学—臨床医学における倫理的決定のための実践的なアプローチ』新興医学出版 ・ 赤林朗編著 『ケースブック 医療倫理』 医学書院 ・ Hope, T. 著 (児玉聡・赤林朗訳)『一冊で分かる医療倫理』岩波書店 		
成績評価の方法	平常点 (30%)、及び最終レポート点数 (70%) により評価する。		
他の授業との関連	医療倫理学 I の内容を前提とする。		

科目名	社会と健康 I [科目番号：41518220]		
タ ー ム	A2	単 位 数	2 単位
曜日・授業時間帯	木曜 1～2 時限		
場 所	医学部教育研究棟 13 階 公共健康医学専攻 (SPH) 講義室		
担 当 教 員	近藤尚己・橋本英樹・川上憲人・外部講師：児玉聡・本庄かおり・藤原武男		
授 業 の 目 的	<p>貧困や社会関係、差別など、健康に影響を与える社会的な要因 (Social Determinants of Health: SDH) について、主に社会疫学に関する理論と実証の方法を学ぶ。社会疫学でよく用いられる計量分析技術のうち公衆衛生全般に広く応用可能なものも紹介する。</p>		
授 業 の 方 法	講義・事前配布資料・レポート		
授業計画及び内容 (各回のテーマ)	<ol style="list-style-type: none"> 1) 社会疫学概論 (近藤) 11/12 1 限 2) 個人と社会の関係 (橋本) 11/12 2 限 3) 社会経済状況 (近藤) 11/19 1 限 4) 景気動向・所得格差 (近藤) 11/19 2 限 5) 社会的ネットワーク (近藤) 11/26 1 限 6) ソーシャル・キャピタル (近藤) 11/26 2 限 7) 社会疫学の因果推論技法 (近藤) 12/3 1 限 8) 胎児期からの社会環境：ライフコース疫学 (藤原) 12/3 2 限 9) 差別／職業性ストレス (川上) 12/10 1 限 10) ジェンダー格差 (本庄) 12/10 2 限 11) 健康の平等と倫理 (児玉) 12/17 1 限 12) レビューセッション (近藤) 12/17 2 限 <p>講師の都合により日時変更の可能性あり。11 月 5 日は休講。その分はレポートを課す。</p>		
教科書・参考書等	<p>テキスト：川上憲人ほか「社会と健康：健康格差解消に向けた統合科学的アプローチ」</p> <p>参考書：「予防医学のストラテジー」ジェフリー・ローズ／「ソーシャル・キャピタルと健康」イチロー・カワチほか／「保健医療従事者のためのマルチレベル分析活用ナビ」藤野ほか</p>		
成績評価の方法	出席態度 (40%)・レポート (60%)		
他の授業との関連	健康科学・看護学専攻「健康社会学特論 I」および公共政策大学院「社会と健康 I」との共通開講科目。		

科目名	社会と健康Ⅱ [科目番号：41518221]		
学期	W	単位数	2単位
曜日・授業時間帯	金曜 3～4時限		
場所	医学部教育研究棟 13階 公共健康医学専攻 (SPH) 講義室		
担当教員	近藤尚己・高木大資 外部講師：石川善樹・藤野善久		
授業の目的	社会環境要因にアプローチする健康増進および健康格差対策の理論と実践、その課題点について、豊富な事例とともに実践的に学ぶ。最終日は受講者自ら調べた内容の発表を行う。また、健康の社会的決定要因に関連する最新の話題や手法について専門家の講義を加える。		
授業の方法	講義・レポート・課題発表・討論		
授業計画及び内容 (各回のテーマ)	1) 社会環境の改善による健康格差対策の国際動向 1/15 3限 2) ポピュレーションアプローチによる健康格差対策 1/15 4限 3) 行動経済学・マーケティング科学の応用 1/29 3限 4) ヘルスコミュニケーションによる健康格差対策 (石川) 1/29 4限 5) 多部署・官民連携による健康格差対策 2/5 3限 6) 健康影響評価の概念と進め方 2/5 4限 7) 健康影響評価(HIA)演習 (藤野) 2/12 3限 8) 健康影響評価(HIA)演習 (藤野) 2/12 4限 9) 健康格差指標とそのモニタリング演習 2/19 3限 10) 都市環境と健康・犯罪：(高木) 2/19 4限 11・12) 課題発表 7. 8 2/26 3限・4限 1/22 は休講。その分はレポートを課す。 講師の都合により日程を変更する可能性がある。		
教科書・参考書等	適宜配布。健康格差指標都モニタリング演習では、米国 National Cancer Institute の研究用フリーソフト Health disparity Calculator (HD*Calc) を使用する。		
成績評価の方法	出席と態度(30%)・レポート(40%)・課題発表 (30%)		
他の授業との関連	「社会と健康Ⅰ」に出席することが望ましい。健康教育学・健康社会学・医療コミュニケーション学などに関連する。公共政策大学院と合同開講。		

科 目 名	産業保健の理論と実践 [科目番号：41518222]		
タ ー ム	A2	単 位 数	2
曜日・授業時間帯	水曜日1・2限		
場 所	医学部教育研究棟13階 公共健康医学専攻 (SPH) 講義室		
担 当 教 員	川上 憲人 (精神保健学分野) 大久保靖司 (環境安全本部)		
授 業 の 目 的	<p>産業保健について最近の動向と国際的視点についてのアップデートな情報を講義すると同時に、演習を通じて産業保健を職場で遂行するための実践的技術の基礎を習得することを目的とする。</p> <p>特に、演習では、産業保健の計画と評価、事例分析、職場巡視及び参加型職場改善手法と取り上げており実践的な技術を習得することができる。また、講義の初回に課題を各人に提示し、教員指導下で課題に対する企画立案を行う Project based learning を行い、その結果のプレゼンテーションまでを行うことでプロジェクト遂行のために必要な技術を修得することができる。</p> <p>本科目においては、産業保健の基礎的な学習を修了していない者も第1回の産業保健関連法制度や産業保健総論を受講することで必要な基礎知識を修得することができる。</p>		
授 業 の 方 法	担当教員および外部講師によるその時点におけるトピックスに関する講義 事例検討等による実践的学習 Project Based Learning による演習		
授 業 計 画 及 び 内 容 (各回のテーマ)	11/4 第1回 産業保健関連法制度産業保健総論 (課題提示) (大久保靖司) 11/4 第2回 産業保健の動向と国際的広がり (小木和孝) 11/11 第3回 産業保健と雇用 (矢野栄二 帝京大学) 11/11 第4回 産業保健のマネジメント (森晃爾 産業医科大学) 11/18 第5回 産業保健におけるリスク管理 (甲田茂樹 労働安全衛生総合研究所) 11/18 第6回 産業保健と倫理 (杉森裕樹 大東文化大学) 11/25 第7回 産業保健と経済 (武藤孝司 獨協医科大学) 11/25 第8回 演習：産業保健の事例分析Ⅰ (大久保靖司) 12/2 第9回 演習：産業保健の計画と評価 (川上憲人) 12/2 第10回 演習：職場巡視 (大久保靖司) 12/9 第11回 演習：参加型職場環境改善Ⅰ (吉川徹 労働科学研究所) 12/9 第12回 参加型職場環境改善Ⅱ (吉川徹 労働科学研究所) 12/16 第13回 演習：課題発表 (川上憲人、大久保靖司)		
教科書・参考書等	特に指定しない		
成績評価の方法	出席(33%)、課題発表及びレポート(67%)		
他の授業との関連	健康医療政策学、精神保健学Ⅱ、健康危機管理学、医療安全管理学、環境健康医学と関連する。		

科 目 名	保健医療人材育成学 [科目番号：41518223]		
タ ー ム	S1	単 位 数	2
曜日・授業時間帯	火曜1・2時限		
場 所	医学部総合中央館（医学図書館）3F M1室		
担 当 教 員	北村聖、大西弘高、孫大輔（医学教育国際研究センター）		
授 業 の 目 的	保健医療分野における人材育成とは、地域や国における保健・医療のニーズに対し、医療人材育成やその制度の開発によって、改善するプロセスである。この科目では、学習や教育に関する理論、カリキュラム開発、プログラム評価、インストラクショナル・デザインの考えを理解しつつ、自らコースや授業を組み立て、評価できるような能力を培うことを目的とする。		
授 業 の 方 法	毎回テーマに応じた講義とグループディスカッション、グループ発表。 模擬授業演習と課題発表は、参加者で2~4名程度のグループを作り、他の学生の前でプレゼンテーションを行う。その後、課題発表について振り返り、レポートを提出		
授業計画及び内容 (各回のテーマ)	4月7日 学習理論とカリキュラムのニーズ評価 4月14日 カリキュラム開発：学習目標・学習方略 4月21日 カリキュラム開発：学習者評価概論 4月28日 アウトカム基盤型学習とインストラクショナル・デザイン 5月12日 プロジェクト・サイクル・マネジメントとプログラム評価 5月19日 講義技法，プロジェクト発表準備 5月26日 プロジェクト発表		
教科書・参考書等	Kernら「医学教育プログラム開発」、Hardenら「医学教育を学び始める人のために」		
成績評価の方法	最終評価：出席（20%），課題発表（40%），振り返りレポート（40%）		
他の授業との関連			

科 目 名	学習者評価学 [科目番号：41518224]		
タ ー ム	A2	単 位 数	2
曜日・授業時間帯	火曜1・2時限		
場 所	医学部総合中央館（医学図書館）3F M1室		
担 当 教 員	北村聖、大西弘高、孫大輔（医学教育国際研究センター）		
授 業 の 目 的	学習者評価は、学習者が学習進度を確認し、フィードバック情報として作用すると共に、教育者にとっては教育が上手く進んでいるか、説明責任を果たせているかを確認するためにも必要である。一方、数値的な評定を行い、合否判定をする際には、妥当性が重要となり、心理測定学的な理解を必要とする。教育や学習に関連した研究をする際には、その成果を可視化するために学習者評価に関する学びが必ず役立つだろう。		
授 業 の 方 法	毎回テーマに応じた講義とグループディスカッション、グループ発表など。		
授 業 計 画 及 び 内 容 (各回のテーマ)	11月10日 学習者評価の理論的背景（カリキュラム開発，アウトカム基盤型教育） 11月17日 筆記試験（小論文，短答式，MCQ，EMI） 11月24日 フィードバックの意義と技法 12月1日 実技試験（OSCE），業務による評価（ポートフォリオ含む） 12月8日 評価データの解析（Excelの使い方，正答率，識別指数，信頼性） 12月15日 合否判定基準設定 12月22日 最終評価（筆記試験）		
教科書・参考書等	Kernら「医学教育プログラム開発」，Hardenら「医学教育を学び始める人のために」		
成績評価の方法	出席（20%），グループ発表（30%），筆記試験（50%）		
他の授業との関連	保健医療人材育成学を履修していると，理解の助けになる。		

科 目 名	健康医療政策学 [科目番号：41518311]		
タ ー ム	A2、W	単 位 数	2単位
曜日・授業時間帯	月曜5時限		
場 所	医学部・教育研究棟13階 公共健康医学専攻講義室		
担 当 教 員	小林廉毅、豊川智之 東 尚弘（国立がん研究センターがん政策科学部）、 馬場園 明（九州大学医療経営・管理学）		
授 業 の 目 的	疾病予防対策、医療保険制度、診療報酬、医療の質など、種々の健康・医療に関わる制度・政策の背景並びに立案・実施、評価、報道、社会への影響について、様々なステークホルダーの立場、関連の法令、費用負担のあり方などを学習するとともに、事例（ケース）を通じて実際を理解する。		
授 業 の 方 法	講義及び事例研究（ケーススタディ）、報告と討論（ディベート）などによる。		
授業計画及び内容 （各回のテーマ）	①11/2 健康医療政策とはなにか（小林） ②11/9 喫緊のわが国の医療政策課題（小林） ③11/16 健康政策としての特定健診・特定保健指導（小林） ④11/30 なぜ米国は国民皆保険でないのかー比較医療制度論（小林） ⑤12/7 レセプトをめぐる政策決定過程（外部講師 岡本先生）（小林） ⑥12/14 診療報酬と医療政策（外部講師 行政担当者）（小林） ⑦12/21（4時限 14:55-16:40）特別講義（馬場園講師） ⑧ 〃（5時限 16:50-18:35） 〃（ 〃 ） ⑨ 1/4 医療へのアクセスと医療政策（豊川） ⑩ 1/18 診療の質評価に向けた研究（東） ⑪ 1/25 エビデンスと現実の政策のギャップと解決に向けて（東） ⑫ 2/1 日本における医療政策決定過程ーメディアからの視点 （外部講師 前村先生）（豊川） ⑬ 2/8 筆記試験		
教科書・参考書等	「国民衛生の動向」（厚生統計協会）		
成績評価の方法	出席（約50%）、授業での報告・レポート（約10%）、筆記試験（約40%）に基づいて評価する。		
他の授業との関連	「予防保健の実践と評価」「保健医療経済学」と関連する。		

科 目 名	医療情報システム学 [科目番号：41518312]		
タ ー ム	S1	単 位 数	2単位
曜日・授業時間帯	金曜・3～4時限 (詳細日程は初回到説明)		
場 所	医学部教育研究棟 13階 公共健康医学専攻 (SPH) 講義室		
担 当 教 員	教授：大江 和彦 他		
授 業 の 目 的	現在の医療が抱える課題を IT による解決していくにはどうしたらよいかについて理解し、臨床的なエビデンスや医療変革のための知見を得るための基盤情報システムとしての電子カルテやレセプトなどの医療情報データベースの意義と課題を理解する。また医療情報がどのように医療サービスシステムの中で管理・活用されるべきかについて議論する。こうしたことを通じて現在の医療システムの変革につなげる方策と制度との関連性を学ぶ。また医療データを扱う上で避けて通れないデータのコーディングと標準化の重要性についても理解する。		
授 業 の 方 法	医療サービスやそれに関わる医療 IT 政策、地域医療におけるフィールド実証実験に関するテーマを順にとりあげ、それぞれにおいて医療情報システム、データベース、情報通信技術 (IT)、法令や制度がどのように関わり、課題と関連しているかについて講義し、議論する。		
授業計画及び内容 (各回のテーマ)	<p>2015年4月10日(初回)に全体の授業計画を説明する。全体は8回16コマ(途中で実施する小試験、最終回の議論、試験を含む)からなる。各回のテーマを入れ替えることがあり、下記のテーマ順序はおおよその例示である。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 4月10日 国内外の医療情報化政策と関連する情報技術基盤、制度の概要 2) 4月17日 病院情報システム、電子カルテシステム、医療情報の標準化 3) 4月24日 医療パーソナルデータの安全管理と情報ネットワーク技術 4) 5月8日 医療情報データベース-ナショナルDBとセンチネルDB 5) 5月15日 モバイルIT医療、生活習慣病マネジメントとIT 6) 5月22日 医療における知識と情報の取扱い、言語処理、 7) 5月29日 オープンデータの取扱い、議論 <p>※5/1 は開講しない</p>		
教科書・参考書等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 医療情報 情報処理技術編 (篠原出版新社) ・ 医療情報 医療情報システム編 (篠原出版新社) ・ 内閣官房 IT 総合戦略本部ホームページ 		
成績評価の方法	出席率 30%、討論 20%、レポート (含試験) 点数 50%の比重で総合的に判定する。		
他の授業との関連	<p>保健医療経済学：医療経済学的観点で医療情報システムを理解する上で関連性を有する。</p> <p>公共健康情報学：健康をとりまく種々の公共情動的側面を知るうえで、関連性が強く、同時に受講することが望ましい。</p> <p>臨床疫学：医療情報システムから収集される大規模データの解析の実例や手法を学ぶ上で関連が深い。</p>		

科 目 名	医療情報システム学実習 [科目番号：41518313]		
タ ー ム	夏季①	単 位 数	1単位
曜日・授業時間帯	木曜・1～2時限 (詳細日程は初回に説明)		
場 所	医学部教育研究棟 13階 公共健康医学専攻 (SPH) 講義室		
担 当 教 員	教授：大江 和彦 他		
授 業 の 目 的	医療データを題材にして、データの標準化の実際、データベースの操作手法・管理方法、データ加工のためのプログラム作成、データ管理におけるセキュリティー技術を身につける。		
授 業 の 方 法	電子カルテとレセプトのサンプルデータを用いて、臨床データベースの設計、データの作成、標準化コードへの変換などを行い実際にデータベースを作成し、そのデータベースを使って検索・データ抽出する一連の過程を実習する。Windows パソコンのごく基本的な操作（ファイルのコピー、削除、Word と Excel の基本的な操作）は出来ることが条件。プログラム作成の経験は不要。		
授業計画及び内容 (各回のテーマ)	<p>以下の5項目について全体の進捗をみながら各項目に2～3コマかけて実習する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) データ作成・変換・インターネットの基本技術実習 2) データベース設計とデータベース操作：医療サンプルデータをもとに、リレーショナルデータベースの一連の基本操作を学ぶ。他のソフトウェアとデータベースとのデータ相互変換の基本的な技術を習得する。 3) データの標準化コードへの変換を学ぶ。 4) データベースを作成し、与えられた課題に適合するデータの抽出、変換をプログラム作成により行い、研究に必要なデータを作成する。 <p>予定日程：6/18, 25, 7/2, 9, 16, 23, 30 の以上7回 (14コマ)</p>		
教科書・参考書等	医療情報システム実習手引書及び関連資料を実習時に配布する。 パソコンは各自所有のノート PC の使用を原則とするが、所有していない場合には当方で用意し実習期間中は貸与する。		
成績評価の方法	各テーマの実習態度 (60%)、出席状況 (20%)、質疑等 (20%) を総合的に評価する。		
他の授業との関連	医療情報システム学講義を受講していることが強く推奨される。		

科 目 名	法医学・医事法学 [科目番号：41518316]		
タ ー ム	S1・夏季①	単 位 数	2
曜日・授業時間帯	月曜 3限		
場 所	医学部教育研究棟 13階 公共健康医学専攻 (SPH) 講義室		
担 当 教 員	岩瀬博太郎、槇野陽介、他		
授 業 の 目 的	法医学の学問的 목적を理解する。 法医学における各分野（法病理学、法遺伝学、法中毒学、法歯科学、法画像診断学、臨床法医学）で実施される業務に関して、その目的と内容を理解する。		
授 業 の 方 法	座学をメインとするが、PBL形式の授業も考慮する。		
授業計画及び内容 (各回のテーマ)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 法医学とは (4月20日) 2. 日本の死因究明制度 (4月27日) 3. 世界の死因究明制度 (5月11日) 4. 医師と政治の関わり (5月18日) 5. 死因論・異状死 (5月25日) 6. 虐待と乳幼児の死亡 (6月1日) 7. 法画像診断学 (6月8日) 8. 法中毒学1 (総論) (6月15日) 9. 法中毒学2 (各論) (6月22日) 10. 法遺伝学 (6月29日) 11. 法歯科学 (7月6日) 12. 災害と法医学 (7月13日) 13. 診療関連死 (7月27日) <p>※ テーマは変更することがある。</p>		
教科書・参考書等	エッセンシャル法医学		
成績評価の方法	レポート (40点) 筆記試験 (60点)		
他の授業との関連			

科 目 名	医療安全管理学 [科目番号：41518318]		
タ ー ム	S 1	単 位 数	1
曜日・授業時間帯	水曜日、3・4時限		
場 所	医学部教育研究棟 13 階 公共健康医学専攻 (SPH) 講義室		
担 当 教 員	児玉安司		
授 業 の 目 的	医療安全管理とは①有害事象の未然防止、②発生した有害事象への適切な対応、③患者からの苦情相談への対応のための取り組みである。本講義では、これらに関連する重要な問題について基礎知識を習得することを目的として、講義を行う。		
授 業 の 方 法	<ul style="list-style-type: none"> ・様々なテーマ（病院組織における医療安全管理活動、専門性の相互理解と共有、患者からの苦情・相談への対応、医療安全支援センターの取組み、事故調査委員会と報告書のあり方、ヒヤリ・ハット事例の収集・分析と無過失補償による紛争の解決について等）に沿って、1回1テーマを基本として講義を行う。 ・テーマごとに資料を配布する。 		
授業計画及び内容 (各回のテーマ)	<p><u>第1回 (4月8日)</u></p> <p>(1)医療安全管理学総論：医療安全対策と医療事故紛争対応の15年の歩みを振り返り、今後の医療安全の方向性を議論する。これまでの品質管理、経営管理、政策制度構築の手法の限界と専門家と市民の対話、意思決定への参加など、大きな構造の変化を迎える中での医療の質・安全実現のための政策制度構築を検討する。</p> <p>(2)医療事故、ヒヤリ・ハット事例の収集・分析と無過失補償による紛争の解決について：医療事故情報収集等事業と産科医療無過失補償制度の成り立ちと事業内容、これらの制度の現場での状況を学ぶ。医療安全のために収集した情報を活用するための工夫点、今後の様々な制度の展望を現場の視点を交えて学ぶ。</p> <p><u>第2回 (5月13日)</u></p> <p>(3)専門性の相互理解と共有：大学病院の医療安全管理者の取り組み、特に薬剤関連の対策を中心に、立場や専門性の違う専門職が協働し、チームとして医療安全を確保するための方法を学ぶ。</p> <p>(4)事故調査委員会と報告書のあり方：「診療行為に関連した死亡の調査分析モデル事業」の経験を踏まえ、医療事故の調査を行う医療安全調査委員会(仮称)の在り方とその調査結果を記す報告書の在り方について、よりよい医療を目指す上で有用なもの(医療行為の専門的な評価を行い、再発防止に役立つもの)となるようにという観点から、その議論と経緯を学ぶ。</p> <p><u>第3回 (5月20日)</u></p> <p>(5)患者からの苦情相談への対応：病院で患者からの相談・苦情を受ける体制やその対応の実際を学ぶ。医療の質向上や医療安全につなげるという観点をもちつつ、実際の相談・苦情にどのように対応しているのか現場について学ぶ。</p> <p>(6)自治体の医療安全支援センターの取組み：地方自治体の医療安全支援センターにおいて、第三者である医療安全支援センターが患者等からの苦情や相談に対応することで、医療機関と患者の信頼関係の構築や医療安全の向上につなげていこうとしている取組みについて学ぶ。</p> <p><u>第4回 (5月27日)</u></p> <p>(7)試験</p> <p>(8)病院組織における安全管理：医療機関の医療安全活動の全体像とマネジメント方法を学ぶ。特に、個人とシステム、対話(コミュニケーションとチームワーク)、患者参加(患者との対話)という3つの新しい観点到に着目する。</p>		
教科書・参考書等	<p>【参考書】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ヘルスケアリスクマネジメント 中島和江・児玉安司(医学書院) ・医療安全ことはじめ 中島和江・児玉安司(医学書院) ・その他、講義の際に、必要に応じて、紹介する。 		
成績評価の方法	成績は筆記試験及び平常点により評価する。(出席10%、試験90%)		
他の授業との関連	本講義に関連して、医療安全管理学実習を実施する。実習の履修は、本講義を履修するための必要条件ではない。		

科 目 名	医療安全管理学実習 [科目番号：41518319]		
タ ー ム	A 1	単 位 数	0.5
曜日・授業時間帯	集中、1～6時限（9月28日(月)及び29日(火)）		
場 所	医学部教育研究棟13階 公共健康医学専攻（SPH）講義室等		
担 当 教 員	児玉安司		
授 業 の 目 的	医療安全管理とは①有害事象の未然防止、②発生した有害事象への適切な対応、③患者からの苦情相談への対応のための取り組みである。本実習では、各種の医療機関で多様な医療安全対策と患者苦情対応の体制が整備されつつあることを認識し、医療安全管理活動に関する今後のあり方について考察することを目的とする。		
授 業 の 方 法	医療機関での聞き取り調査および観察実習とそれに基づく今後のあり方についての考察を行う。		
授業計画及び内容 (各回のテーマ)	<p>2日間で下記プログラムの実習を行うものとする。</p> <p>1. <u>チームワーク・トレーニングと、医療事故の事例分析（RCA）</u> コミュニケーション・ツール（TeamSTEPPS）についてのグループワーク RCAの概要と実際 事例を用いたRCAグループワーク グループ発表・総括 ※医療機関職員（参加希望者）とともにグループ討議を行う予定</p> <p>2. <u>医療機関での調査・実習</u> 複数の医療機関の見学とディスカッション ・医療安全対策部門の概況・活動の見学 ・患者相談・臨床倫理部門の概況・活動の見学 ・他の医療機関の医療安全対策についての報告会</p>		
教科書・参考書等	<p>【参考書】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・RCA 根本原因分析法実践マニュアル 石川雅彦（医学書院） ・医療安全ことはじめ 中島和江・児玉安司（医学書院） ・その他、講義の際に、必要に応じて、紹介する。 		
成績評価の方法	成績は、出席状況及び実習報告書の内容で評価する。（出席30%、報告書70%）		
他の授業との関連	別に実施する医療安全管理学（講義）を履修することが望ましい。ただし、必要条件ではない。		

科 目 名	健康危機管理学 [科目番号：41518320]		
タ ー ム	S1	単 位 数	1 単位
曜日・授業時間帯	月曜・1～2時限		
場 所	医学部教育研究棟 13 階 公共健康医学専攻 (SPH) 講義室		
担 当 教 員	小林廉毅 富尾 淳 (医学系研究科社会医学専攻公衆衛生学講師) 岡部信彦 (川崎市衛生研究所長) 中島一敏 (東北大学) 田中良明 (江東区深川保健相談所長)		
授 業 の 目 的	新興・再興感染症等のアウトブレイクや大規模災害など様々な健康危機の事例、健康危機突発事の原因同定と対応策、リスクコミュニケーション、平時におけるサーベイランスについて学習するとともに、事例を用いて健康危機管理に必要な疫学調査法の基本を習得する。		
授 業 の 方 法	講義及び過去の典型的な事例を用いた事例研究 (ケーススタディ) による。		
授業計画及び内容 (各回のテーマ)	4 / 1 3 (月) 健康危機管理概論、新興・再興感染症 (岡部講師) 公衆衛生サーベイランス (小林) 4 / 2 7 (月) アウトブレイクへの対応 (1) (事例検討) (中島講師、富尾講師) " (2) (") (中島講師、富尾講師) 5 / 1 1 (月) (2 時限) 保健行政における健康危機管理 (田中講師) 5 / 1 8 (月) アウトブレイクへの対応 (3) (中島講師) 災害医療 (富尾講師)		
教科書・参考書等	「最新感染症ガイド R-Book 2012」(日本小児医事出版社、2013 年)		
成績評価の方法	出席 (約 60%) 及びレポート (約 40%) に基づいて評価する。		
他の授業との関連	「保健行政・健康危機管理学実習」と関連する。		

科 目 名	保健行政・健康危機管理学実習 [科目番号：41518321]		
タ ー ム	夏季②・A1	単 位 数	2単位
曜日・授業時間帯	集中（今年度は8/31（月）～9/11（金）を予定している）		
場 所	保健所、研究室等		
担 当 教 員	小林廉毅 田中良明（江東区深川保健相談所所長）		
授 業 の 目 的	健康危機管理や保健行政一般に関して、各種資料の収集、各種疫学指標の算出、原因に関する仮説の構築、現実的な対応策の立案及びその実施と評価、対策実施に関わる組織・態勢のマネジメントなどについて実習する。 （本実習の対象者は将来、公衆衛生行政に進むことを希望しており、実習先の指定する資格を取得している者に限定する。また、受け入れ施設の都合により履修人数を制限することがある。）		
授 業 の 方 法	保健行政・健康危機管理の現場に身をおき、保健所長などの各種専門職の役割を理解しながら、実習を行う。		
授業計画及び内容 （各回のテーマ）	実習先（保健所等）における実習計画に基づいて行う。		
教科書・参考書等	「衛生行政大要 改訂第23版」（日本公衆衛生協会、2012年）		
成績評価の方法	出席(50%)、実習態度(40%)、実習報告書(10%)を目安に評価するが、いずれも必須である（合否で判定）。		
他の授業との関連	「健康危機管理学」の履修を必須とする。		

科目名	環境健康医学 [科目番号：41518322]		
チーム	A2	単位数	1単位
曜日・授業時間帯	月曜・2時限		
場所	医学部教育研究棟 13階公共健康医学専攻（SPH）講義室		
担当教員	大迫誠一郎		
授業の目的	<p>ヒトは、大気、水、食品などの環境から様々な有害な化学物質を体内に取り込んでいる。他方、事故により、中毒量を取り込む場合もある。</p> <p>様々な有害物質による健康影響に関する歴史から今日的な問題についての講義を行う。また、健康影響の同定、量反応関係、有害影響が現れる病態発生のメカニズムとその影響を初期に診断するためのバイオマーカー、環境防御対策などについての基本的な知識と考え方を教授する。</p>		
授業の方法	担当教員等による講義で、全7回の予定。		
授業計画及び内容 (各回のテーマ)	<p>1) 11月2日 アスベストの健康影響と環境問題 車谷 典男 (奈良県立医科大学・地域健康医学)</p> <p>2) 11月9日 身近な化学物質の子どもへの影響～発達期曝露の遅発中枢影響～ 種村 健太郎 (東北大学・農学研究科)</p> <p>3) 11月16日 ゲノム情報の予防医学への応用 -環境中化学物質への感受性の個人差- 加藤 貴彦 (熊本大学・環境生命科学)</p> <p>4) 11月30日 環境化学物質のケミカルバイオロジー 熊谷 嘉人 (筑波大学・環境医学)</p> <p>5) 12月7日 大気汚染の健康影響、特に気管支喘息について 嵯峨井 勝 (つくば健康生活研究所)</p> <p>6) 12月14日 ウイルス感染症とケミカルズバイオロジー 小川 健司 (理化学研究所)</p> <p>7) 12月21日 珪酸・アスベストの免疫影響 大槻 剛巳 (川崎医科大学・衛生学)</p>		
教科書・参考書等	適宜、指定する。		
成績評価の方法	すべての出席とレポート提出を前提として、出席 50%、レポート 50%で評価する。		
他の授業との関連			

科目名	公共健康情報学 [科目番号: 4 1 5 1 8 3 2 3]		
ターム	夏季①	単位数	2単位
曜日・授業時間帯	6月5日-7月31日金曜 3限目と4限目		
場所	医学部教育研究棟 13階 公共健康医学専攻(SPH)講義室		
担当教員	小山博史及び非常勤講師予定(山口直人先生、中山健夫先生、若尾文彦先生、吉田輝彦先生)		
授業の目的	公共健康医学分野における情報処理の基礎について理解すること。		
授業の方法	各回1テーマの講義を行う。 テーマによって資料を配布し、質疑応答を中心に講義を行う。		
授業計画及び内容 (各回のテーマ)	<p>【対象】公共健康医学分野関連の情報処理について学習したい人。 (特にプログラミング能力を有する必要はありません。)</p> <p>【内容】公共健康医学分野における情報処理に関する講義を行う。</p> <p>【概要】(非常勤講師の都合で一部日程及び題目・内容の一部変更の可能性あり)</p>		
		13時00分～14時45分	14時55分～16時40分
	6月5日	健康情報の公共性	社会における健康情報処理
	6月12日	EBMと診療ガイドライン (山口直人先生)	診療ガイドラインの社会的役割
	6月19日	がん医療における情報の役割	がん対策情報センターとがん政策 (若尾文彦先生)
	6月26日	地理情報システム(GIS)概論	地理情報システム(GIS)の医療応用
	7月3日	医療におけるゲノム情報処理 (吉田輝彦先生)	ゲノムコホート(小山)
	7月10日	データマイニング概論	ビッグデータと疫学研究 (中山健夫先生)
	7月17日	予防接種情報システム(米国の事例)	(記述試験予定)
	7月24日	(予備日)	
教科書・参考書等	1) Magnuson, J.A., Fu, Jr., Paul C. (Eds.) Public Health Informatics and Information Systems 2nd ed. 2014, Springer. ISBN 978-1-4471-4236-2. 2) 講義用作成資料		
成績評価の方法	出席(約50%)、小テスト(約30%)、期末試験(約20%)により評価する。		
他の授業との関連	医療情報システム学や医療コミュニケーション学と関連性が深く共に受講することが望ましい。		

科 目 名	公共健康情報学実習 [科目番号: 4 1 5 1 8 3 2 4]		
タ ー ム	A2	単 位 数	1 単位
曜日・授業時間帯	開講期間:11月6日～12月25日(金曜日3-4 限目)		
場 所	医学部教育研究棟 13 階 公共健康医学専攻 (SPH) 講義室予定		
担 当 教 員	小山博史		
授 業 の 目 的	R を用いたデータマイニングと地理空間データ処理の基本的手法の習得。		
授 業 の 方 法	R を用いた基本的なデータマイニング手法と地理空間データ処理法を修得するため実習の手引を基に PC を用いた実習を行う。 (PC は学生所有の PC 使用予定。)		
授業計画及び 内容(各回のテーマ)	<p>【対象】R を用いたデータマイニングの方法と地理空間データ処理法を学習したい人。 担当教官の都合により一部日程及び内容の変更の可能性あり</p> <p>【内容】R を用いた代表的なデータマイニング手法と地理空間分析入門</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. R 基礎 (11/6) 2. データマイニングの基礎 (11/13) 3. データマイニング I (11/20) 4. データマイニング II (11/27) 5. 地理空間データ解析 I (12/4) 6. 地理空間データ解析 II (12/11) 7. 地理空間データ解析 III (12/18) 8. 予備(12/25) 		
教科書・参考書等	実習の手引きを中心に行う。 R のダウンロードサイト(http://www.r-project.org/)		
成績評価の方法	出席(約50%)と課題レポート(約50%)により評価する。		
他の授業との関連	医療情報システム学、医療コミュニケーション学と関係が深く、共に受講することが望ましい。		

科 目 名	インターンシップ [科目番号：41518411]		
タ ー ム	夏季休業期間または春季休業期間	単 位 数	2単位
曜日・授業時間帯	8～9月中の2～3週間（募集6月下旬）または3月中の2～3週間（募集1月中旬）		
場 所	公衆衛生関連の試験研究機関・シンクタンク・NGO、企業の臨床試験担当部門、医療機関の情報担当部門など（下記受入先一覧参照）		
担 当 教 員	川上 憲人（専攻長）		
授 業 の 目 的	公衆衛生の現場（公衆衛生関連の試験研究機関・シンクタンク・非営利団体等、医療機関）などに身を置いて、実務の中から、自ら取り組むべき課題を見つけ、分析を行い、対策を立案する能力を身に付ける。		
授 業 の 方 法	学生が自らの関心に応じて、あらかじめ用意されたインターンシップ受入先（下記参照）を担当教員に提示した後、担当教員がコーディネーターとなり、学生の意欲や適性と受入先の状況に応じて受入先と調整を行い、派遣先を決定後、実施する。*募集期間7月中旬および1月中旬		
授業計画及び内容 (各回のテーマ)	インターンシップ実施にあたって、あらかじめ、学生、責任教員及び受け入れ先と綿密に打ち合わせの上、実習計画を立て、それに基づいて実習を行う。 ○受入先一覧		
	No	インターンシップ受入先及びテーマ（予定）	
	1	独立行政法人 国立健康・栄養研究所 栄養疫学に関するデータ収集および分析の援助	
	2	NPO メンタルケア協議会 ① 東京都自殺相談ダイヤル相談記録に基づく相談者傾向の分析等 ② 東京都精神科救急医療情報センター相談記録に基づく救急医療利用の傾向変化についての分析等 ③ 自殺未遂者対応連携支援事業における G-P 連携の効果評価	
	3	一般財団法人 医療経済研究・社会保険福祉協会 医療経済研究機構 諸外国や日本の医療保障制度や介護保険制度等に関する事	
	4	独立行政法人 国立がん研究センター がん対策情報センターがん情報・統計部 臨床研究 e-learning サイト http://www.icrweb.jp/ の評価	
	5	NPO 日本臨床研究支援ユニット 乳癌検診・大腸癌検診・循環器領域などの大規模臨床試験に関連した研究管理とデータ管理の援助	
	6	国立保健医療科学院 医療技術や医薬品等の費用対効果の評価と活用	
	7	特定非営利活動法人 ヘルスサービス R&D センター 救急医療管制支援システム (e-MATCH) 設計・開発・導入等の支援業務	
	8	株式会社 三菱総合研究所（夏季のみ） 保健、医療、介護に関わるプロジェクト分析やコンサルティング業務など	
	9	株式会社 キャンサーズキャン 市町村の保健行政（がん検診の受診率向上等）、理想的な職場環境づくり等に対するコンサルティングプロジェクトを通じて、担当者を説得するコミュニケーション、ビジネスとしてプロジェクトを動かすスキーム等を体験し学ぶ	
	上記以外の機関については、専攻長まで希望を書面で提出し、専攻会議で承認を受けることでインターンシップを行うことができる。		

教科書・参考書等	特に指定しない。
成績評価の方法	出席（30%）、実習態度（30%）、インターンシップ報告書（40%）に基づいて評価する。
他の授業との関連	

科 目 名	公共健康医学特論 [科目番号：41518412]		
タ ー ム	S1	単 位 数	2単位
曜日・授業時間帯	月曜4限・5限(14:55—18:35)を下記のように3分割する 14:55—16:05 (70分間) 16:10—17:20 (70分間) 17:25—18:35 (70分間)		
場 所	医学部教育研究棟13階 公共健康医学専攻(SPH)講義室		
担 当 教 員	公共健康医学専攻 担当教員 (調整幹事 臨床疫学・経済学分野)		
授 業 の 目 的	公共健康医学専攻の14分野から、それぞれ公共政策・活動との接点となる具体的取り組み事例や課題をテーマとして取り上げ、公共の厚生に資する健康科学のあり方と、その研究・実践上の克服すべき課題について、理解を深める		
授 業 の 方 法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 14担当分野から、公共の観点に則したテーマを選んで講義を行う。 ・ テーマごとに資料が配布される。 		
授業計画及び内容 (各回のテーマ)	1) 4/20 14:55-16:05 インTRODクシヨN 公共健康医学の視座(康永) 2) 4/20 16:10-17:20 法医学(岩瀬) 3) 4/20 17:25-18:35 精神保健研究トピックス(川上・島津) 4) 4/27 14:55-16:05 公共健康情報学概論(小山) 5) 4/27 16:10-17:20 産科医療補償制度(小林) 6) 4/27 17:25-18:35 景気動向と健康(近藤) 7) 5/11 14:55-16:05 保健医療におけるサイエンスコミュニケーション(石川・木内) 8) 5/11 16:10-17:20 環境と中毒:歴史からの教訓と健康科学の役割(仮題)(大迫) 9) 5/11 17:25-18:35 医療倫理学概説(瀧本) 10) 5/18 14:55-16:05 公衆栄養学・予防栄養学の役割と課題(佐々木) 11) 5/18 16:10-17:20 ITによる生涯健康情報の活用(大江) 12) 5/18 17:25-18:35 健康の社会的決定要因;医療モデルの批判的克服(橋本) 13) 5/25 14:55-16:05 臨床試験成績の解釈と公共への発信(松山) 14) 5/25 16:10-17:20 保健医療政策の立案と実現(厚生労働省) (※5/25 17:25-18:35 は予備) (※講義の順番は変更することがある)		
教科書・参考書等	講義毎に異なるので適宜指示する。		
成績評価の方法	各回の出席(50%)・レポート(50%)を総合的に評価して判定する。		
他の授業との関連	他の授業のすべてと関連を有する。		

科目名	課題研究 [科目番号：41418511]		
タ　　ー　　ム	通年	単　　位　　数	6単位
曜日・授業時間帯	指導教員の指定する曜日・時間帯		
場　　　　所	指導教員の指定する研究室		
担　　当　　教　　員	各指導教員		
授　業　の　目　的	公衆衛生学の諸領域における高度な問題解決能力を身に付ける。		
授　業　の　方　法	特定の研究課題について、現地調査（フィールドワーク）。資料収集、分析・統計解析、論文作成などを指導教員の指導のもとで行う。		
授業計画及び内容 （各回のテーマ）	—		
教科書・参考書等			
成績評価の方法	出席状況（50%）及び課題研究の成果（課題研究論文）（50%）で評価する。		
他の授業との関連			

6. 公共健康医学専攻成績評価規則

公共健康医学専攻成績評価規則

制定 平19. 4. 1

改正 平26. 7. 23

(成績の区分)

第1条 学生の成績は、A+, A, B, C, Fの5段階とし、C以上を合格とする。ただし、特別の理由があるときは合格・不合格の2段階評価とすることができる。

(成績区分の標準)

第2条 A+, A, B, C, Fの基準は、下記の通りとする。

A+ 90点以上

A 80点以上

B 70点以上

C 60点以上

F 不合格(60点未満)

(成績評価)

第3条 成績は、筆記試験及び平常点によって評価する。ただし、実習科目並びに相当の理由がある演習科目、受講生の少ない科目等では、レポート等の提出によって筆記試験に代えることができる。

2 各教員は、成績評価に際してどのような要素がどの程度考慮されるかにつき、学生が履修する前に公表しておくものとする。

3 教員による採点は、原則として素点によって行う。ただし、学生には素点ではなく、5段階評価で通知する。

(成績に関する説明)

第4条 学生は、自己の成績について、成績の通知を受けてから1ヶ月以内に限り所定の方式に従い、教員に対して説明を求めることができる。

(筆記試験の実施)

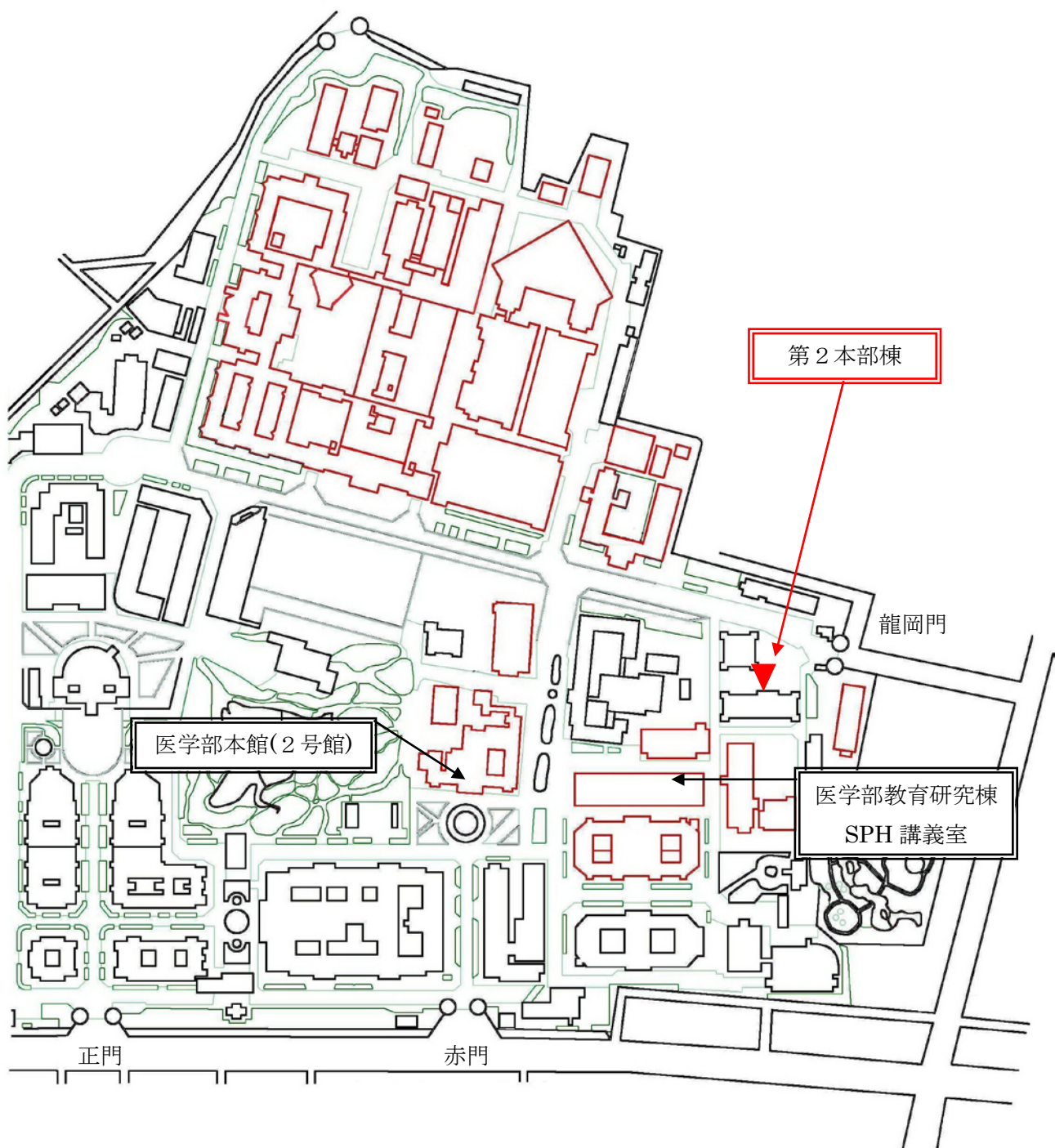
第5条 筆記試験実施の細目は、別に定める。

附 則

この規則は、平成27年4月1日から施行する。

7. 公共政策大学院との合併科目について

	科目番号	科目名 (担当)	単位	ターム	曜日	時限	開講場所
P. 51	5121090	社会保障法政策 (島崎)	2	A1・A2	月	6	第2本部棟 7階 演習室 3
P. 52	5123090	医療政策 (埴岡ほか)	2	A1・A2	木	3	第2本部棟 6階 演習室 8



時間割コード Course Code	5121090	使用言語 Language	日本語
授業科目名	社会保障法政策		
Course Title	Social Security Law Policy		
学期 Semester	A1A2 (2015/09/01-2015/12/31)	曜日・時限 Day/Period	月(Mon)6 [18:45-20:30]
			単位数 Credits
			2
担当教員	島崎 謙治		
Faculties	SHIMAZAKI Kenji		
授業の目標・概要 Course Objectives/ Overview	<p>社会保障をめぐる法政策は、高齢化・少子化の進展、経済成長の低迷、経済活動の国際化など、社会経済の大きな変化を背景に、非常にダイナミックな動きを見せている。しかも、社会保障制度は、国民の生活に直結し、かつ国の経済活動にも影響を与えるために、現代行政の中でも大きな位置を占めるに至っている。</p> <p>この授業は、現代行政において重要性を増しつつある社会保障について、実際に政策立案に携わった経験も踏まえ、法政策とは何かという点にポイントを置き、基本的に講義形式で行う。</p> <p>具体的には、総論として、法政策とは何か、人口問題と社会保障、社会保障の国際比較、について講義した後、各論として、医療を中心に取り上げる。また、年金および社会福祉についても講義する。</p>		
授業のキーワード Keywords	社会保障法, 社会保険, 高齢化, 医療, 年金, 社会福祉,		
授業計画 Schedule	<ol style="list-style-type: none"> 1. 少子高齢化・経済成長と社会保障(人口構造・経済構造と社会保障) 2. 社会保障・法・政策(社会保障と法・制度・政策の意味) 3. 日本の社会保障制度の沿革(日本の社会保障の歴史と現状) 4. 日本の社会保障の体系と特質(社会保障の国際比較、社会保険方式の意義) 5. 医療保険制度1(医療保険制度の概説と政策課題) 6. 医療保険制度2(医療保険制度体系論) 7. 医療供給制度1(医療供給制度の基本問題と政策課題) 8. 医療供給制度2(医療供給制度の政策手法。診療報酬制度等) 9. 介護保険制度(介護保険制度の概説と政策課題) 10. 生活保護および福祉制度(生活保護および福祉制度の概説と政策課題) 11. 年金制度1(公的年金制度の概説と政策課題) 12. 年金制度2(前回の補足および企業年金制度の概説と政策課題) 13. 社会手当(児童手当・児童扶養手当の概説と政策課題) 14. 社会保障と税制(社会保障・税の一体改革等) 15. 総括(全体のまとめ) 		
授業の方法 Teaching Methods	講義方式による。		
成績評価方法 Method of Evaluation	レポートによる。		
教科書 Required Textbook	島崎謙治『日本の医療－制度と政策』(東京大学出版会, 2011年)		
参考書 Reference Books			
履修上の注意 Notes on Taking the Course			

時間割コード Course Code	5123090	使用言語 Language	日本語	
授業科目名	医療政策			
Course Title	Health Policy			
学期 Semester	A1A2 (2015/09/01-2015/12/31)	曜日・時限 Day/Period	木(Thu)3 [13:00-14:45]	単位数 Credits
				2
担当教員	埴岡 健一／岩本 康志／井伊 雅子／飯島 勝矢／辻 哲夫			
Faculties	HANIOKA Kenichi／IWAMOTO Yasushi／II Masako／IIJIMA Katsuya／TSUJI Tetsuo			
授業の目標・概要 Course Objectives/ Overview	医療の進展により、われわれは健康寿命の伸長という恩恵を受けている。一方で、医療が高度化するなかで、多くの政策課題が生まれている。効率的で良質の医療サービスが提供されるために何をなすべきか。この授業では、医療政策をめぐる現代的課題を理論的・実践的に講義していく。			
授業のキーワード Keywords	医療, 医療経済学, 医療政策, Health care, Health economics, Health policy			
授業計画 Schedule	<p>以下のような話題を取り上げることが予定している。</p> <p>医療政策策定フレームワーク</p> <p>高齢化と医療介護保険</p> <p>高齢化と医療介護政策</p> <p>地域医療と地方財政</p> <p>地域主導の医療</p> <p>市民主体の医療</p> <p>医療・保健統計</p> <p>医療の質と情報</p> <p>超高齢化社会の予防重視型システム</p> <p>虚弱期のケア</p> <p>プライマリケアの評価</p>			
授業の方法 Teaching Methods	講義形式による			
成績評価方法 Method of Evaluation	定期試験による			
教科書 Required Textbook	橋本英樹・泉田信行編『医療経済学講義』、東京大学出版会。東京大学医療政策人材養成講座編『「医療政策」入門』、医学書院			
参考書 Reference Books				
履修上の注意 Notes on Taking the Course				